

日米通信

小倉和夫論文：明治政府の金玉均処分。藤原書店、「環」#35号。

November 01, 2008

日記。E S T（米国東部標準時間）10月31日、早暁。

★ 東京のしんやから。

『環』35号に、小倉和夫「アジアとの連携と背信の原型」という論文が載っている。サブタイトルが「金玉均への外交的対応を中心として」。当時の政府が清国や朝鮮政府との関係を悪化させないために、結局は金を見捨てた、ということを外交文書などを使って論証したものだ。まだよく読んでいない。

今朝は大分気温が下がった。ようやく冬が近づいた、という感じだ。体調はあまりよくない。難しいね。進也、11時



1884年前後の若かった甲申事変関係者たち。



★ 紐育の金さんから。

『環』35号に、小倉和夫「アジアとの連携と背信の原型」という論文が載っている。サブタイトルが「金玉均への外交的対応を中心として」。当時の政府が清国や朝鮮政府との関係を悪化させないために、結局は金を見捨てた、ということを経典文書などを使って論証したものだ。まだよく読んでいない。--

金玉均への対応は 日清戦争にも つながる 日本政府の 二重性と 未熟性にあると 思われます。

金玉均は 日本の 明治維新以後の 急速な 西洋文明を 摂取した 富国強兵による 近代化を 模範とした 朝鮮王権社会の 変革を 企て 政変により 一挙に 達成する目的を 持つておりました。

失敗の 原因は 竹添公使の 変心と 金玉均を 頭にした 同志たちが 全部 支配層の 若い 貴族子弟であり 理想主義に 陶酔して 社会とは 無関係でありました。王権＝王朝を 既存のまま 存続させて 社会改革を 目標にしており 福沢諭吉が 師匠役でありました。

日本政府 井上外務と 竹添公使が 政変を そそのかして 示唆して 支持と 兵力の配置の 約束はしたものの 清国の 兵力により 竹添公使が 予定の 援助をしなかったことが 3日天下に 終わる 原因となりました。しかし 金玉均は 今で言う 親日派ではありません。自分の 利得のために 日本を 利用したのではなく 日本を モデルにして 王朝社会の 近代化を 実現しようとしたのです。王朝は 維持したままの 近代化という 矛盾の 所産でした。

★ T h o m a s から。

そうか、環に小倉和夫が書いているのだね、さすがは藤原書店だ。

18年前に、[琴ピョン洞教授が緑陰書房から“金玉均と日本、その滞日の軌跡”を出したが](#)、琴は日本政府が始末に困って金を小笠原群島と北海道に島流し後、朴泳孝との不和が続き、上海へ誘拐され朝鮮政府の刺客に殺された顛末を追っていた。

金さんの指摘にあるように、昨日フィラデルフィア史跡記事を書きながら、考えたのだが、甲申事変に参加した連中はまるで子供だった。徐載弼は20歳で、日本の士官学校留学から金玉均に同伴してたが、あの未遂革命参加者は全部20代の連中ばかりだったと思う。

あこのころの日本社会にくらべたら、朝鮮宮廷を困らせた所謂「知識層」には江戸幕府のように鎖国にもかかわらず出島外交を通じて欧米文化に触れていた日本の老練さがなかった。竹添大使の「変心」を現在の韓国知識層が恨むのは理解はできるが、竹添大使の「使命」は日本政府の方針に基づいて、朝鮮の政変に対応することで朝鮮社会の将来など念頭にもなかったと思う。それはオタガイサマ。朝鮮知識層にはがめつい主体性が欠落していたし、当時頻発していた階級闘争の性質など視野になかったと思う。

「環」最近号を期待するが、日本政府が金を見捨てた理由はあたりまえだっただろう。金玉均たちはあまりにも未熟すぎた。問題は朝鮮宮廷に老獪な指導者が居なかった。

極度な階級差別で二十台の貴族子弟たちを啓蒙していた中人層の識者たちはなにもできなかったのが事実だろう。

さて、こちらアメリカでは、大統領選選挙まであと 1 週間。

共和党極右指導層はもう既に選挙敗北を前提に今後の運動目標を考えているらしい。アラスカからのあのテイリン女性を中心に民心収拾に狂奔する姿勢が出始めている。彼女の演説を聴視し続けているが、案外バカではないようだ。聴衆収攬は上手。共和党敗北後、彼女はまだまだ伸びるだろう。

★ 東京のしんやから。 10 月 31 日、午前 7 時。

腸の具合が悪く、午前中は何度もトイレに通う始末、どこにも行けず、家にこもって本を読んでいる。ようやくおさまってきたが、今日は絶食することにする。昨夜寝る前からちよつと変だった。急に冷え込んだからたぶん寝冷えだろう。気候に適応が遅いのも高齢者の特徴だ。

『環』を続けて読んでいる。金玉均については、金さんが適切な解釈をしてくれた。読み直したが、付け加えることはない。

この号の面白いところは、特集の食糧問題と、それにかかわる農業、漁業問題、消費者の問題だ。それぞれに学んだが、米一つとってもまだまだやれることが多い。しかも温暖化で、今では北海道の米がうまいのだそうだ。

掘り出し物は「批評とは義憤である」という対談。新保祐司・粕谷一希。新保氏は 1953 年生まれで東大仏文卒。島木健作、内村鑑三、信時潔といった、ちよつとめずらしいラインナップで批評を書いている。僕もほとんど見たことがない。最近の著書は『フリードリヒ 崇高のアリア』で、これはドイツの画家カスパー・ダヴィッド・フリードリヒが対象だ。彼は同時代の文学に絶望していて、まったく批評の対象になりえないという。三島由紀夫など作文に過ぎない、と。

断片的に引用してもわかりにくいだろうが、たとえばグレン・グールドに演奏は、バッハにしてもベートーベンでも批評だ。それと同じことを文学でやるのは、素手で立ち向かうことだ。カトリックとプロテスタントについて、カトリックは美で、プロテスタントは崇高だ。戦後の作家はカトリックに行くが、要するに美、戦前と戦後の違いは大きい。こんな調子でしゃべっている。今書こうとしているのはシベリウスだそうだ。彼は晩年作曲をしなかった。8 番目のシンフォニーは廃棄した。

その沈黙がテーマらしい。こういう人を探し出してきたのはこの雑誌の功績だ。後で送る。進也、15 時

日米通信

村岡花子。徐載弼。

November 02, 2008

日記。E S T : 金曜日、10 月 31 日、早暁。

★ 昨日の渋谷教授の書き込みから転載。

● 徐載弼

以前ご紹介した、岡本隆司氏の『世界のなかの日清韓関係史』pp.170-1 にも徐載弼の話が出てきます。1895 年末、金弘集政権に招かれて帰国してから『独立新聞』を発行し、独立協会を設立し、96 年に独立門を建設したこと、こうした「独立」運動は、前近代における清朝に対する「属国自主」というスタンスを大きく変化させたこと、金政権は徐らの政府批判に悩まされながらも主張そのものは黙認したこと、こうした動きにおされて高宗がロシア公使館から還御することなどが書かれていました。今回アメリカでの生活ぶりも教えていただき、「朝鮮独立」に献身した徐載弼の、活力の原点を見る思いでした。またいろいろご教示ください。

★ 東京のしんやから。受信：10 月 31 日早暁。

まだ腹具合はよくない。調子が戻らなくて困る。

渋谷さんが書き込みされているね。よく注意を払っている。

昨日書いた新保祐司さんと粕谷一希さんの対談、面白いので図書新聞に紹介を書こうと思っている。美と崇高という概念で書いていくと、昔の精神性の優位に陥らないかとも思うが、新保さんは聡明だからそんなことはないだろう。現代の文学状況に絶望していて何も書く気にならない、それでどんだんさかのぼって行ったというが、わかる気がする。今の小説は消耗品に過ぎないからね。新保さんは文芸批評家を名乗る。文芸評論ではない。批評とは詩でもある。だから書くことがなくなればやめればいいし、短いものを書いていくようにしたい。健全だ。進也、12 時

★ T h o m a s から。

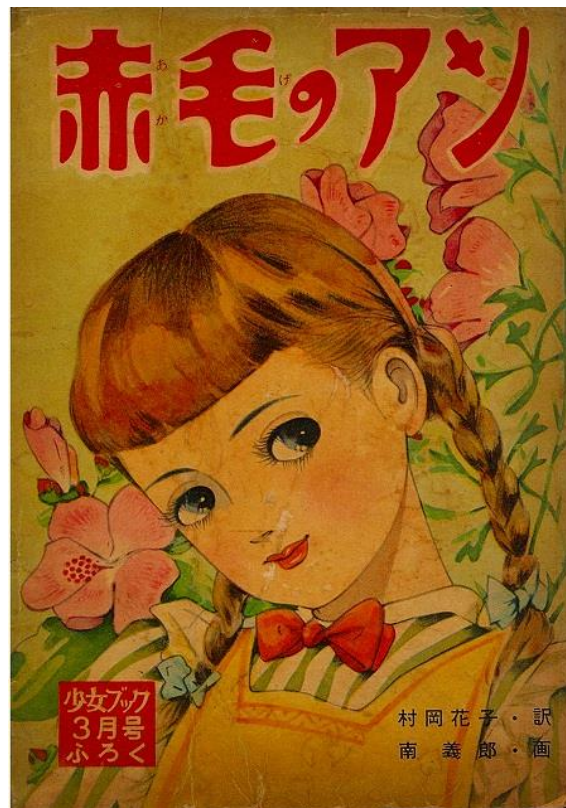
水曜日、29 日にひさのさんとお茶を一緒にしたが、

村岡恵理著、「村岡花子の生涯、アンのゆりかご」マガジン・ハウス、2008。

を貸して下さった。勿論僕は聴いたこともない著者だし、村岡花子は大連で母の友人だったピアニスト、村岡天津子の親戚かしらと訝った。だが、関係はないらしい。お別れしたあと、読み始めたら引きずりこまれて読了した。

著者、村岡恵理はNHK前身のJOAKで昔ウチオのおばさんとして知られた英文学作家、村岡花子さんの孫だ。

村岡花子は貧しいクリスチャン家庭の娘で、10歳で華族の学芸女学校へ入り、英語を学び、翻訳家になった。カナダ作家、Lucy Maud Montgomeryの作品多数を翻訳した。彼女は「赤毛のアン」で知られている。



赤毛のアン記念館、村岡花子文庫。 <http://club.pep.ne.jp/~r.miki/>

読んでいるうちに関心をそそられたのは、彼女が山村みねこと友好関係にあり、二人とも歌人佐々木信綱の弟子であったことだった。山村みねこは愛蘭文学の翻訳で知られ、ことに大正 12 年に新潮社から「シング戯曲全集」を翻訳して出版したことで知られている。この書には William Butler Yeats がじきに序文を書いているし、巻頭に佐々木信綱への献呈辞が見受けられる。John Synge（1879－1909）没後、彼の戯曲全部が日本語で陽の目をみたのだから、驚嘆に値する。（僕はこの日本語訳書を持っている。）

村岡花子は 1905 年生まれだった僕の母より 12 歳年上だった。東京大震災後の 1925 年に東京に母がついた時、村岡花子は 32 歳だったことになる。

このようなことを記すには理由がある。僕の母も帝国女子医専の日本文学講座で佐々木信綱の薫陶を受けた。僕の少年時代に、大連で医療に従事しながらも、母が学生時代に使った源氏物語テキストを座右の書にしていたのを思い起こす。

あのころの学生集会を通じて、彼女は村岡花子の友人だった市川房枝も知っていた。産児制限問題、ミネソタだとかのリンゼイ判事、サンガー夫人、コロンタイ、ローザ・ルクセンブルグなどの女性人権運動者たちの名前は僕の記憶の底に叩き込まれている。

だが、僕は松村みねこが筆名で、本名が片山広子であったことをこの村岡恵理書で知った。

★新潟の裏から。

10月31日（金曜日） JST 5 : 39 PM

とむさん

10月の最終日です。明日から11月ですよ！！寒くなるのは仕方ないですね。

11月は、もう冬の訪れです。初雪だって降りますから。

Penfield 村の秋も、いよいよ佳境ですね。それにしても、この景色はいいですね。

秋の日の陽射しが、濃い影を作っている。青い空と白い雲。緑一色だった木々が、まるで自分の役割であるかのように季節を受け止めて色付く。日本も同じです。こんな風景が世界中に存在するんだと、改めて自分の周囲を見渡してみました。

これから飲み会で出掛けます。明日から3連休で、ちょっと気分が解放されています。家内も同じように友人と食事会とか。私も酒は飲まないのに、食事だけですけどね。

チャックさんの聖餐用の聖布、もっと詳しい解説付きで紹介して欲しかった！！勿体ない。それでは行ってきます。

★★★

Comments

1 ■村岡恵理の NHK ラジオ出演の感想など

Dear Mr.Thomas Penfield,

トーマス様

少女月刊誌の附録表紙を飾った「赤毛のアン」、拝見しました。顔の中心部、鼻の辺りで表紙に皺が寄って印刷の挿絵が一部、欠けていますから、所有者が相当な愛着を以って読み込んだ証拠ですね、これは。

執筆中の翻訳者の写真まで引用・掲載されていますので、「参考になれば」と思い、私が 5ヶ月前に聴いた著者・村岡恵理の NHK ラジオ出演の感想など、書き込みます。

20 年ほど前からでしょうか、NHK は、午後 11 時から午前 5 時まで「ラジオ深夜便」と題する深夜番組を放送しております。定年退職したアナウンサーたちが、主に熟年・老年の聴取者を対象に語り掛ける構成となっています。云うなれば、トーマス氏のような年金生活者を受信者に想定する時間帯なのです。

そのラジオ深夜便 2008 年 06 月 06 日(金曜日)午前 1 時 5 分頃から午前 2 時頃まで、《列島インタビュー・アンは永遠、赤毛のアン記念館主宰・村岡恵理が語る》と題された番組が放送され、偶々、この私も起きており、耳を聴けました。

で、そのお孫さんが村岡花子の思い出などあれこれと語ってくれたのですが、その大半はトーマスさん、大して印象に残る話でもないもので、右から左へと聞き流して仕舞ったのですが、流石は NHK です。

(字数制限措置のため、後半部を割愛)

Yozakura 2008-11-02 23:13:48

2 ■村岡恵理さんの NHK 番組出演の感想、後半部です

(字数制限により、ここから後半部分です)

トーマスさんが言及された如く、過去の番組に出演していた村岡花子の朗読や原稿読み上げなど、本人の発声が局内に記録保存され、それをラジオ放送にて再現してくれたのです。

保存されていた出演番組が、果たして、戦前に放送されていたであろう番組(「ラヂオの小母さん」か?)であったか否か、そこまではトーマスさん、私も記憶して居りませんが、

昔の東京・山の手辺りの女性がそうであったような、背筋を伸ばしたシャキシャキとした喋りで、話の運びが頗る小気味良いのです。

それが如何にも、トーマスさん、リズム感があって、人と人との遣り取りを眼前に彷彿とさせる「赤毛のアン」の翻訳文体、その俚」といって、そんな話し振りののです。これは、気分が愉快になるだけでなく、一寸した収穫でした。

お孫さんには、翻訳者に関する資料を記念館に保存して頂くとして、愛読者は NHK に懇請し、過去の放送録音から御本人の発声を再現して貰えば、そちらの方が得る情報量は大きく、楽しめます。

村岡花子の翻訳は現在でも猶、多数の読者を魅了して放さないそうですが、公開された話し振りに推して、その点は大いに納得できたものです。お元気で。

Yozakura 2008-11-02 23:20:29

Diary. November 3. Monday. 桔梗根譚。

日記。土曜日、10月29日。EST午後3時半。

★ Thomasから。桔梗の根乾物。

数日前に韓国食料品店Hーマートで干し桔梗根（トラジ）を見つけて一袋買った。ただし、料理法がわからない。それで、新潟の裏に使用法を訊ねた。トラジは少年時代に大連で見たことがあるし、父母がトラジを朝鮮料理に使っていたから。ただし、僕はキムチが大嫌いだったから、見覚えがあるだけ。

キムチを食べるようになったのは、アメリカに来て30年ぐらい経ったあとだった。ただし、マリカもチャックも僕が冷蔵庫にキムチ瓶を入れると、臭いと顔を顰める。笑。70年昔の僕と同じ。

★ 新潟の裏から。

11月1日（土曜日）JST8:30PM

とむさん

トラジについて調べてみました。トラジは基本的に漢方薬です。食材としても利用されていますが、かなりアクが強く、クセもあるようで、キムチのような強い味に漬け込んで使っています。

日本の切り干し大根のように、そのまま食べるということはないようです。

http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q117227211

一方、切り干し大根はレシピが沢山。でも、トラジを切り干し大根のように調理するのは無理なのではないでしょうか。

今度切り干し大根をお届けします。しばらくお待ち下さい。一応切り干し大根の調理方法をお知らせします。

<http://cookpad.com/category/1413/recipe>

もの凄く沢山のレシピが載っています。

我が家の様子。家の前の木を木材で覆って雪に備えます。もう一枚は、家の裏から見下ろした沢の様子。

★ Thomasから。桔梗花（トラジ）の歌。

トラジは桔梗の根のキムチだ。トラジは夏に紫や白の花が咲く。落陽後、根を秋口から春先に掘り出して食用とする。日本では観賞用だが韓国では薬用として用いる。母は桔梗根を手に入れるたびに、喜んでいた。

ヘーヘイヤというRefrainがついた民謡をおぼろげながら覚えている。ただし、日本語で。



思い出す、トラジの民謡。母がよく歌ってた。だけど、僕は朝鮮語を知らない。

・トラジ トラジ トラジ
めずべきトラジの花咲く
峠の道よ、幼馴染の道よ
エイヘイヤ … …

・トラジ トラジ トラジ
トラジの白き花みつめ
母偲ぶ黄昏、
星のみ、やさしく揺れ、歌う。
エイ ヘイヤ

★ Thomas 日記。

単調な一日。近所を散歩し、ピアノ、バイエル # 5 5 の暗記。左手の指がまだだめ。

Diary. November 4. Tuesday. ボリヴィアの孫たち。



隣のカラハン家は子福家庭だ。子供が10人居る。

そして、この25年の間に長女ケイティーはもう30歳を超えた。

子供に全部大学を終えさせるために、カラハン夫妻が全てを犠牲にして育てたことは言うまでもない。

毎週の食糧品買出しだけでも大変な努力で、彼らは卸市場まででかけて買い出す始末だった。

ケイティーは大学卒業後、結婚し、カラハン家に寄寓しながら、夫君のデニスと一緒に大学院で勉強し、二人とも博士学位まで教育学でとった。（デニスの苗字もカラハン。血縁関係はなかった。）

教育界に入った後、彼ら二人はメリノール・カトリック・宣教会に、志願し、選抜されて、一家全部ともボリヴィアに昨年教育奉仕のために去った。

加えて、妊娠中だったケイティーはボリヴィア現地で三番目の子アマリアを分娩した。だから、デニスとケイティーを通じて、チャックと僕にはボリヴィアに三名の（疑似）孫が居るわけだ。彼らの名前、ベン、ノア、とアマリア。



二人はコチャバンバ（C h o c h a b a m b a）市のメリノール・言語学院でスペイン語を習い。昨年全課程を修了し、L a P a z（ラパス）市で働くことになったと昨日知らせてきた。上掲地図を調べる読者は気が付くと思うが、ラパスもコチャバンバをアンデス山脈の丘陵地帯のどまんなか位に位している。

（インディオと呼ばれ）歴史的に搾取されてきた先住民たちは主にこの丘陵地帯に住み、東の平原地帯は白人が主権を握る地帯でだ。今回ボリヴィア大統領に先住民が大統領に選出されて、ボリヴィアは不穏極まりない社会状態にある。



このような彼らから数日前に知らせがあった。言語学院を卒業した、彼らはラパスに定着して、教えるそうだ。勇気がある子供たちだと思ふ。上掲の写真で理解されると思うが、ラパスは人口密集の盆地。盆地の中心は裕福な支配階級居住区。まわりの丘陵に貧民区はへばりついている。





彼ら一家は丘陵区の真下にアパートを見つけた。 上掲写真も下掲写真も彼らの窓外風景。ことに上掲写真から読者は住宅状況を推察されることと思う。



ボリビアのカトリック教会民俗は先住民族の民族文化とスペインから輸入された伝習との奇妙な合成だ。
以下の写真は、「ファティマ童貞さま（＝聖母マリア）の祭り。



窓から「ファティマ童貞」祭りの行列を眺めるベンとノア兄弟。



そして、下掲がアパートの近くにある広場で週末に開く（有料）見世物動物園とメリー・ゴーランド。ただし、なぜか食べ物売る店がないそうな。）

最後に、産まれたばかりのアマリアは学校に連れて行かれ、学校の職員さんたちに大人気で、子守の問題がないそう。

ベンもノアも、**現地人小学校に入学して学んでいる**。ベンのスペイン語はもう完璧に近いらしい。

ケイティーは師範大学で教え、デニスはコンピュータ扱いの指導員をしているそう。



日米通信 切り干し大根。読書問答。シング。松村みねこ。明日の選挙。

November 05, 2008

★ 東京のしんやから。Received: EST Sunday, 2 October, 2008.

やっと胃腸の不調が治ってきた。今朝は冷え込んだ、と嶋名から電話。こちら寒いがおそらく上野ほどではない。あちらは山の中だ。

今日は聖徳小学校同窓会の会報に原稿を書こうと思っている。こういう不急不要の原稿は、思いついたときでないと書けない。ほかに書きたい原稿はあるが、思いついたが吉日と考えることにする。そういえば、「あかしや」の索引は往生している。項目がすごく多くてページ数が読めない。どうやって簡約にするか考慮中だ。

新保祐司さんに刺激を受けて加藤周一の『日本文学史序説』の下巻を読み始めた。上巻は感動して読んだけど、下巻には取り付けなかった。下巻は元禄時代からで、朱子学の影響下で中江藤樹や伊藤仁斎の学問がどういう道をたどったかを書く。加藤の叙述は明快で、漢文はシナ語と書き、和文は日本語と書き分ける。その上で、文章家としては荻生徂徠がもっともシナ語に熟達し、散文では新井白石だという。また、白石は幕府の役人でもあったが、広い知識人で当時としては西欧の学問にも通じていたらしい。この本は膨大でまだ江戸時代（安藤昌益）から先まで行けないが何とか読んでみる。東京に出たときに新保さんの「フリードリヒ」も探して見たい。千葉県では困難だ。渋谷さんが教えてくれた岡本隆司『世界の中の日清韓関係史』も探してみる。

松村みね子のシング劇の訳、面白かったね。『海に乗りゆく人々』、『西国の伊達男』など、不思議な印象だった。別の本で見たのかもしれないが『アラン島』も忘れがたい。岩山で地表が乏しく農作物が出来ない荒涼とした島の様子がなんともつらかった。アイルランドとは、風土的に恵まれない土地だと思う。松村みね子＝片山広子は先年再評価されて全文集『燈火節』と歌集が出た。僕は文集を読んで書評を書いたが、本はもう手元にない。村岡花子にはもっと多くの少女小説の訳本があるが、モンゴメリのものがロングセラーになってこればかりが有名になった。たしかに一時代前の人で晩年の仕事で知られるのも仕方ない。それにしても猫も杓子も自宅が記念館になるのには驚かされる。佐佐木信綱（この人の名前は佐佐木が正しい）は『心の花』という雑誌を創刊したが、今は息子の佐佐木幸綱が継いでいる。俵万智が同人だ。進也、11時43分

★ Thomasから:

少し古くなったけど、君と一緒に読んだ、「崔文衝」の「日露戦争の世界史」があったね、あの書は感心しながら読んだ。やっぱり、藤原書店、2004年出版だ。あのころの、満洲人民そのものの動きをもっと捉えた研究だったと有難いのだが、今になっても満洲は中国にとっても「単なる植民地」にすぎない。

★ Thomasから。

僕はトラジよりも、日本式に切干大根と育った。姉のように慕った、母親代わりの日本女性が石川県出身だった。育てられた習慣って、老年期まで残るらしい。襄君がインターネットにある切干大根料理レシピを教えてくれた。

★ 新潟の襄から：

とむさん

電話でお話したように、切り干し大根（千切り大根）をお送りしました。検閲に引っ掛かったりしなければ、一週間ほどで着くと思います。切り干し大根は、様々な種類が並んでいましたよ。で、ちょっと高級そうなものを選びました。

と言っても、大したことはないんです。お金はかけていないので、ご安心下さい。

さて、今日は穏やかな良い一日でしたが、明日からまた秋の雨が始まりそうです。また寒くなるかも知れません。

★ 紐育の金さんから。

明日は いよいよ アメリカの 大統領選挙の日です。私は 朝 5:30 から 午後の 9:00 まで 投票所で 韓国語通訳員として 働きます。225 ドルが 日当になります。

オバマの 優勢が 伝えられておりますが 選挙は 水物です。ふたを開けるまでは 安心できません。今度の選挙は アメリカだけでなく 世界の 関心を 集中しております。産業は 衰退しており アメリカの 生産物は 紙幣の 増発のみが 最大の 生産物になり 加えて 紙切れの 債券を 乱発して 世界的な 詐欺を 働きました。個人なり ある程度の 会社が 詐欺をしたとしたら 重大犯罪になります。世界的な規模の 会社がした 詐欺は 国家が 補ってくれます。国家資本主義になりました。

社会主義経済の 国家支配です。修正資本主義ではなく 統制資本主義です。国家の行政は 各種の法律で 規制されております。ただ 一つ 資本の活動のみは すべてのことにつけ 制限 または 禁止をすることが 禁止になっており 国境のない 無制限の 自由が 許されており それが 新自由主義の 美徳と されておりました。自由は 統制されてのみ 自由が 維持されます。

無制限の自由は 放縦です。放縦になった アメリカの 自業自得です。しかし 迷惑は 全世界の 貧乏人までに 及んでおります。この 困った 旦那の 御威勢は まだまだ 当分は 続きそうです。オバマの アメリカは 世界の 信頼を 回復するように 努力してほしいと 思います。十字架を 背負った オバマに 祝福がありますように 祈ります。

★★★

Comments

1 ■切干大根

襄さん、ブラジルに住んでいる駐在員の人が言っていましたが、かの地では、郵便の盗難なんて、日常茶飯事で、ニホンからの小包みの中の食べられそうなもの、使えそうなものはすぐ抜き取られるそうです。お菓子とか服、日用品など

無事に手元に届くものは、すぐに食べられないもの、、、干しいたけ、ひじき、切り干し大根、、
なんですって。

にやにや 2008-11-05 03:42:52

2 ■ミズーリ州の選挙情報です

トーマス様

紐育・金さま

当ブログにて、各種情報の提供、お疲れ様です。以下は、私が入手した、米国内の局地的な選挙情報の、勝手な提供です。

先日、11月02日午前10時過ぎ(現地時間)に受信した、ミズーリ州滞在の友人(米国民)からのメールによれば、
「友人は、この1ヶ月余りに亘り、家族と子ども、オバマ候補支持を訴えては近隣の町村を廻り、canvassing campaign(戸別訪問)に従事。11月01日(土曜日)には、州内のSpringfieldと云う町の高校の競技場へ、オバマ候補と夫人が来訪。勿論、彼等はこのオバマ支持集会に参加。そこで候補者夫婦は「素晴らしい演説」(友人の評価)をぶち上げ、5万人以上もの支持者から喝采を受けた」そうです。

ただ、友人のメールの文末には、"It will be a very tight race!"とあります。同州では「極めて緊迫した接近戦」となっている模様で、この点は、紐育・金氏の記述を想起させます。

お時間ありましたら、ニューヨーク州内投票所の模様など御知らせ下されば、幸いです。お元気で。

Yozakura 2008-11-05 12:16:44

3 ■にやにやさんへ

ということは、切り干し大根なら大丈夫ということですね？良かった！

今度はひじきをお届けしようと思っています。

ひじきは酢と相性が良いので、とむさんにぴったりの食材だと思います。

襄 2008-11-05 19:17:39

4 ■切り干し大根

毎年冬になると作ります。

大根を短冊に切って晴天の風のある日を選んで干しますよ。

毎年、フィリーに住んでいる娘の所へ送ります。

今年は銀杏がたくさん実をつけました。

きれいに洗って干しての作業も、娘が待っていると思うとせいが出ます。

もしよろしければ送りますよ。

きみかげそう 2008-11-06 18:19:27

5 ■きみかげそうさんへ。

意地汚い返答ですが、切り干し大根発見は僕にとってアメリカ在住60年中の重大事件です。笑。お申し出とても有難くお受けいたします。ありがとうございます。

なお、よろしかったら、娘さんのアドレスなりEメールを僕のM e s s a g e 欄を通じてお教え下さい。

T h o m a s

thomas-penfield 2008-11-08 21:28:08

歴史 Yes, we can. イエス、ウィ キャン。

November 06, 2008

日記。E S T. 10月6日。午前3時。

8年間の悪夢が終わる。オバマが当選した。

昨日の午後9時にTVに疲れ果てて、眠りこけて、午前3時に眼が醒めた。

チャックは勿論もう寝ていたが、コンピュータをつけて、僕たちアメリカ市民の勝利を知った。

TV画面の皆が泣いていた。

愛する民主主義のアメリカが勝った。

60年の昔、東洋人の孤児同様だった僕を硝煙が立ち込める東洋から拾い上げて救ってくれた、それでも黒人リンチが横行していたアメリカで、どんなに罵る輩が居ても、だまって、見知らぬ僕を支えてくれ義父母たちが居たアメリカが、蘇りつつある。

若い白人青年たちと黒人青年たちと一緒にあって、オバマ当選のために働いた毎日だった。

黒人大統領！それがアメリカの真実だ。

僕がアメリカについた1948年に陸軍内の黒人差別が撤廃された。

それでも、1956年、アーケンソーの陸軍基地に居た時、ミシシッピに帰省したが白人ゴロツキどもに発砲され、追い回されて、逃げ帰ってきた黒人青年兵士のあの顔を思い出す。

そして、60年後の今日、オバマ大統領が事実になった。



僕はアメリカに良心、善意、人種民族の平等、そして輝かしい未来を作れることを信じる。

アメリカはどんどん変わるだろう。一昨日、「ボリヴィアの孫たち」で書いた、ボリヴィアで無償で働くアメリカ青年の世界が未来のアメリカだということを覚えていて欲しい。

★★★

Comments

1 ■ Yes, we can.

わたしもこの選挙はずっと見てきました。

とても嬉しい新しいアメリカの記念日になりましたね。

おめでとうございます☆彡

わたしも、とても嬉しいです♪

kiku ママ♪ 2008-11-06 00:25:24

2 ■お二人の"Yes, We Can"を拝見

トーマス様

紐育・金さま

お二人の"Yes, We Can"を拝見。私が知りたかったのは、地元投票所などの状況ですが、文面に抛れば、支持候補の当選に、感激十倍、勇気百倍といった面持ちですね。

現在の心境の寄稿、有難う御座いました。

猶、当方の局地的選挙情報ですが、その後、ミズーリ州から、特に続報はありません。ご本人も、これで忙しかったのでしょうか。

お元気で。

Yozakura 2008-11-10 14:44:17

風景描写 リドリイ自然公園の秋、2008.

November 07, 2008

日記。11月4日と5日。（記述、11月6日早暁。）



11月4日午前9時にマノア老人センターにあるいつもの投票所にチャックと二人で出頭して、長い列に加わったあと問題なく大統領選挙の投票を終えた。民主党選挙運動代表の顔見知りが一人数ばかり入口前に立っていたが、共和党代表の姿はなかった。

白人ばかりの僕たちの選挙区だが、共和党の人々はもう諦めていたのだろうと思う。フィラデルフィア郊外の白人区は圧倒的にオバマ支持なようだ。



選挙後、息抜きに「リドリイ自然公園で散歩しよう」と二人で決めて、公園を訪れた。



秋はどんどん深まっている。新潟の裏が今年の夏来てくれた時、この公園につれてくる時間がなかったのが残念だった。



これが僕の相棒、66歳のチャック。もう僕と38年一緒に暮らしている。彼は憎らしいほど肥らない。笑。



僕の少年時代に、日本の歌に「啼き行く雁の数みせて」という句がある荒城の月という詩があった。
父が何時もエスペラント語訳を口ずさんでいた。

76rpm 音盤があって、藤原ヨシエがテノールで歌っていたと思う。70年前の昔の話だが。コロムビアの手提げ「蓄音機」を僕は持っていた。僕の4歳誕生日にまだ東京に住んでいたときに、で父が買ってくれたのだった。母に手を引かれて、何処かの省線電車駅に行って、プラットフォームで鉄道省から退勤して、急行電車を降りる父を迎えた。

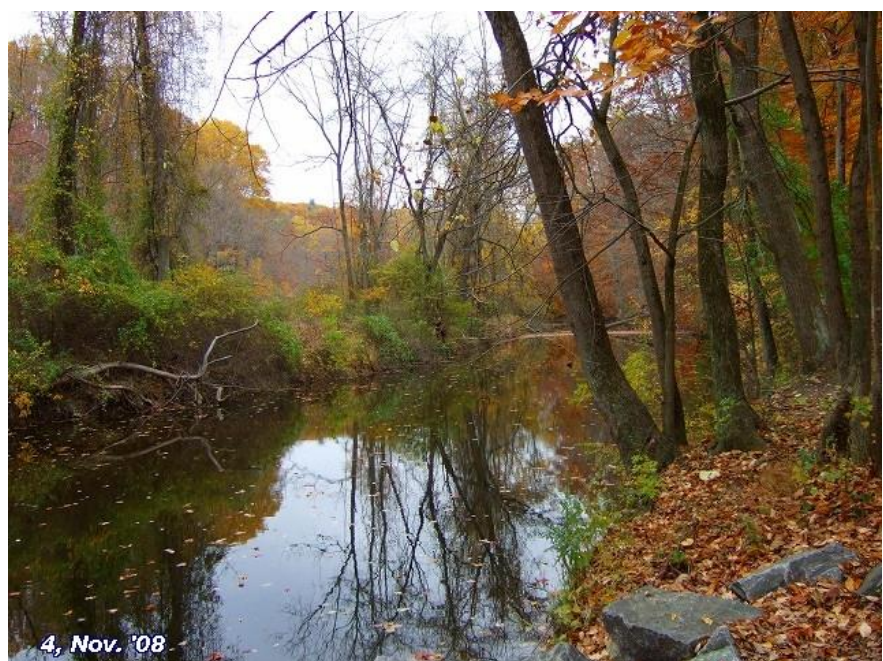
父が下げていた、あの鼠色の Portable Phonograph を思い出す。手回しだった。戦争中、音盤が擦り切れるほど聴き入った。



そして、これが僕。派手な Sweater でしょう？ ノールウェイ製。勿論、チャックが買ってくれた。「馬子にも衣装」、僕は来年3月に80歳。



この公園はとにかく広大。僕たちの歩きまわる区域はほんの一部に過ぎない。



紅葉を満喫しながら僕たちは散策した。



昔、昔、このあたりに散在していた民家の一つが、廃墟として保存されている。
歴史が浅い米国のこととて、レキシ保存に皆さん敏感すぎるほど、ビンカんだ。
おそらく農家の一階にあった暖炉だったのだろう。全てが崩れ去り、これだけが残った。
このあたりは、小川の流れて沿って存在した農園だったらしい。

1995年11月、今から13年前に亡くなった母を車椅子に乗せて、下掲の滝の傍まで頻繁に連れて来たものだ。90歳で彼女は逝った。



★★★★

★紐育の金さんから：（大統領選挙日の翌日。オバマ大統領当選を知ってから。）

Y e s , w e c a n .

時代が 英雄を 選び 英雄は 時代を 選ばないと 言います。一方主義を 標榜して 傲慢のあまり 戦争を仕掛けて イラクの 泥沼に 陥りいる 一方 新資本主義を 旗頭に 貪欲のあまり 金融危機の 破綻で 世界に 恐怖を 拡散している 未曾有の この時代が O B A M A を アメリカの大統領に 選びました。

オバマは 軍事力と 経済力の 強さでなく アメリカの理想の 力が 真の アメリカの力であり 信頼の回復を通して アメリカの 社会の分裂と 活力を 再生する 難事業を 達成する 任務の 十字架を 背負いました。アメリカは 世界の 難問題の 根本である一方 当事者として 解決の 責任もあります。"Y e s , W e C a n"と こだました 呼びかけが アメリカの 良い力を 蘇生させて アメリカのみならず 世界に 新しい 希望と 協力を 生み出す 信頼の 絆で 世界の人々に 光を 与えてくれるに 願っております。

日米通信

オバマ当選への反響。日本のあるカトリック神父から。

November 09, 2008

◎ ある友人神父からの手紙。

オバマ勝利を NY で迎えられなかったのは人生の汚点になるかもしれません。

（T h o m a s 註、見下。）

日本では福井県の小浜市が喜んでいただけで、何が変わったのか実感をもっている人が余いません。残念極まりありません。

オバマの経歴は黒人というよりは、ハーバードのロースクールを magna cum laude で卒業して Harverd Law Review の編集者であったというだけで、衝撃的です。

奥さんはプリンストンとハーバードのロースクールを出た弁護士ではないですか！ 民主党の代表というよりは、アメリカ国民の最優秀な一人です。こういう人を大統領に国民が選んだというのは、アメリカの良識を知らせてくれます。

オバマが法律の専門家ということは、法律が平等と弱者の保護で構成されており、その起源が旧約と新約の律法からでき上がっているのを感じます。オバマのスピーチを聞くと、明らかに中間層から下の人びとへのメッセージであり、それは申命記的人道的律法を言い直しているかのようです。（T h o m a s 註。僕もまことに同感です。）

素晴らしい大統領が出てきました。私も黒人のおばさんのようにうれしいです。

最後のフレーズは、一昨日市内の PNC で私の隣の窓口に並んでいた黒人のおばさんが、♪フィリーズがワールドシリーズで勝ち、オバマが大統領になり、そして、昨日は私の誕生日、と自作の歌をうたっていたからです。

註：ニューヨークの日系、韓系社会は定着した老人層からおもに構成されているが、オバマ支持は少なく、概ねマケイン支持だった。

一般に、移民後の次代層になり定着し、富裕化した二世や三世層は極度に保守的になり、宗教的にはカトリックから聖公会に改宗し、政治的には民主党から共和党に、子供は公立学校から私立学校に換えるのがパターンだ。だが、このような人たちは慈善事業に金をあまりださない。

★ 東京のしんやから：

今日は木更津に行ってきた。雨が降っていたけれど、予定していた時間に用意が出来たので出かけた。あかしや

会（註：大連中学8回生同窓会）の旅行は刺激になった。80歳の老人9人の集まりは、外見はみっともないが、非日常ということでは気分が変わる。それが元気の源だ。

今度の旅行では橋君が面白かった。彼は去年の全国大会に出席してやっと存在が明らかになったが、二年の時、旅順中学から転入してきて、四年のときに陸軍少年飛行兵学校にはいったという。大中とは縁が薄いというので今まで連絡をしても出てこなかった。埼玉県で長年地方新聞社で記者をやり、最後は管理職部長までやってやめた。かなりおしゃべりで、最近はブログに写真と日記を公開しているらしい。君のブログを知らせてやるから、そのうちに応答があると思う。「紫藤君はどんな人だったの?」などというから、ちょっと応答に困るが、こういう新人? もいるから面白いのかもしれない。

オバマの当選で世界中に大反響だが、日本ほど鈍感な政府もめずらしいのではないか。日米同盟は変わらない、などとトンチンカンなことを麻生が言っているが、これでは世界の物笑いだろう。それにしても、オバマはエネルギー、疲れを知らない。そういう年齢だからと思うが、もうどしどし手を打っているのが頼もしい。アメリカは変わる、世界も変わる。何だか希望が持てそう。これがもしヒラリー・クリントンだったら、初の女性大統領となったのかもしれないが、インパクトは断然違う。 進也、17時15分

★★★

Comments

1 ■ 夢は一瞬で終わらせてはならない

日本の経済界ではかなり慎重に見えていますね。

例えば、日経の伊東乾氏(作曲者ではありません)などは

「オバマ当選！アメリカ合衆国の遺伝子組み換え」(11/7)の記事で

「現実的な「危機管理」としての「暗殺予防」」として下記の文章を述べています。

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/manage/20081106/176439/>

> せっかくオバマ氏が大統領選に圧勝した直後、水を差すようで恐縮ですが、冒頭にも述べたとおり、私が現実問題として最も危惧しているのはオバマの狙撃、暗殺です。

> 改めて思い出してみてください。民主党の公認候補争い末期、ヒラリー・クリントン陣営のオバマ氏攻撃が、どれほど醜いものだったか。

> 今回の選挙でオバマ候補に投票した人の中には、オバマ氏本人にはどこかで退場してほしい、と思っている民主党の人間が少なからずいます。

> 様々なバランスを考え、オバマ選対は中途半端に生臭い年齢の副大統領候補ではなく、60代後半のベテランで外交通のバイデン上院議員を、若いオバマのタッグパートナーに選びました。

> しかし選挙は勝って初めて意味のあるもの、「オバマブーム」で政権を奪取し、適当な時期にバイデン氏に担ぎ変えよう、と考えた民主党支持者が必ず存在します。ヒラリー・クリントン側近などはいろいろな本音を持っているはず。むしろ、そういう人が全員、直ちに「オバマ暗殺を考える」と言うつもりはありません。

フィクション小説的には、今後のアメリカの将来を考えて、(第二第三のオバマ氏を急加速で作る為に)「敢えて暗殺される」事も考え

られます。このような事がブラックジョークだけで終われば良いのですが…。

綿貫朔太郎 2008-11-09 02:31:15

2 ■ No Title

同感です。醜い暗殺事件が起こらないとよいが。

ケネディ兄弟や、キング師などの暗殺悪夢から僕たちは未だに醒めきってませんものね。

thomas-penfield 2008-11-16 20:05:46

風景描写

ペンフィールド村散歩。10月8日。ブルックライン駅からペンフィールド駅まで。

November 09, 2008



僕たち二人が住んでいる集落はペンフィールドと呼ばれている。ノーリスタウン郊外急行電車のビーチウッド・ブルックライン駅（下掲地図参照）と次ぎの駅のP e n f i e l d 駅の間にある区域だ。（地図中の赤線は今朝散歩した道順。標識 A が僕たちの住宅。）

北部を電車線、西をE d g e w o o d 路が、南をM a n o a 路が区切る三角地帯だ。

上掲写真は北部にあるB e c h w o o d / B r o o k l i n e 駅に至るE d g e w o o d 路で、この道はまるで林のような並木に覆われている。

そして、駐車してある五台の自動車の左側に僕たちが使いつけている食料雑貨・喫茶店がある。

店の名前が Pig and whistle. P&W と昔愛称として使われた急行電車線の渾名を茶化したらしい。



8, Nov. '08

Penfieldの村

標識Aがさすのが僕たちの住宅。Karakung Drive 標識の下を細い線で描かれた小川が北から南は蛇行しているが、その両側を帯状の緑色公園地帯が北から南に沿ってひろがる。この沿線公園地帯はほぼ3キロは続くと思う。



今朝、散歩して電車線にそってL a w s o n（ローソン路）路を歩きながら写真を撮った。このあたりは、二十世紀初期に郊外高速急速電車線に沿って設けられた勤め人集落。

真っ白に塗られた壁の真ん中に高く白い暖炉煙突が聳えている。隣家の前庭に立つ深紅の日本紅葉が心地良いコントラストを形作る。

ただし、昔イタリア移民工場の労働力がふんだんにあった時代が過ぎてしまった。壁の塗り替え、煉瓦煙突のメンテナンスに皆さん困っている。僕たちも同じ。



歩道に聳える並木。黄色くなった繁りが著しい。こちらはL a w s o nローソン路の中央あたり。



落ち葉がかき集められた山が歩道脇に横たわる。60年前僕がアメリカに着いた頃には、このような枯れ葉の山が随所で焼却されて、近所に煙がたなびいたものだ。晩秋の象徴だった。

今は法律で落ち葉焼きは禁止されている。



僕がこのペンフィールド集落が好きな理由の一つは、比較的に小さい平屋が多いこと。そして、敷地が広いからそんなにごちゃごちゃしていない。素寒貧でもないし、お金持ちでもないし、富の誇示に走る必要もない。



一昔前にこの平屋が売り物に出たとき、チャックと二人で覗きに入った住宅。たしか4DKでバスが二つあったし、地下室が書斎になっていて、家の後に高速急行が走った。だが、庭が広いので、急行電車の往来が全然気にならなかった。



これが上掲住宅の裏庭。広いでしょう？ 電車線が前方に白く横たわり、その背後の谷に沿線公園の谷に小川が左から右にくだって流れている。



さて、ローソンを出てメリオン（Merion）路に入るともう僕たちの住宅ブロック。この上下二枚が、後ろ三軒両隣。（マノア路を隔てた向かい三軒とは交際がない。だがら、後3軒。後とは細い路地がブロックを区切っている。）



そして、下掲がメリオン路。



僕たちの集落を紹介しました。

グーグル地図で僕たちの集落を見物できます。空中写真が出てるから。

★★★

Comments

1 ■ 美しい風景ですね

錦の織り成す風景に美しくもえるような紅の色がとてもきれいです。

毎年、秋の紅葉がこんなにすばらしいのでしょうか？

きみかげそう 2008-11-13 15:42:58

風景描写 教会の図書室。近所の児童公園散歩。

November 11, 2008

日記。11月5日、水曜日。聖ヨセフ教会、図書室の図書整理。ペンフィールド集落の児童小公園。



僕たちはチャックの仕事で聖ヨセフ教会の司祭館に入り浸り。

この写真は司祭館一階の廊下。古い、古いエレベーターが左側にくっついている。

廊下の前方に玄関が見える。廊下は背後の礼拝堂に繋がる。サクリスタンであるチャックは礼拝堂に隣接したサクリスティ（S a c r i s t y）で働く。この廊下に見受けられる絨毯は英国人たちが大好きなボカラ模様絨毯。



これが僕たち二人が世話している図書室。本棚が充分でなくて苦勞する。家具など一切は勿論信者がおもに使い古した家具。

でも、ごっちゃまぜながら、案外調和がとれてるでしょう？ 僕たち二人とマイクル神父三人で寄付された神学関係図書を整理して、目録に書き入れて、インターネットで読者に公開。

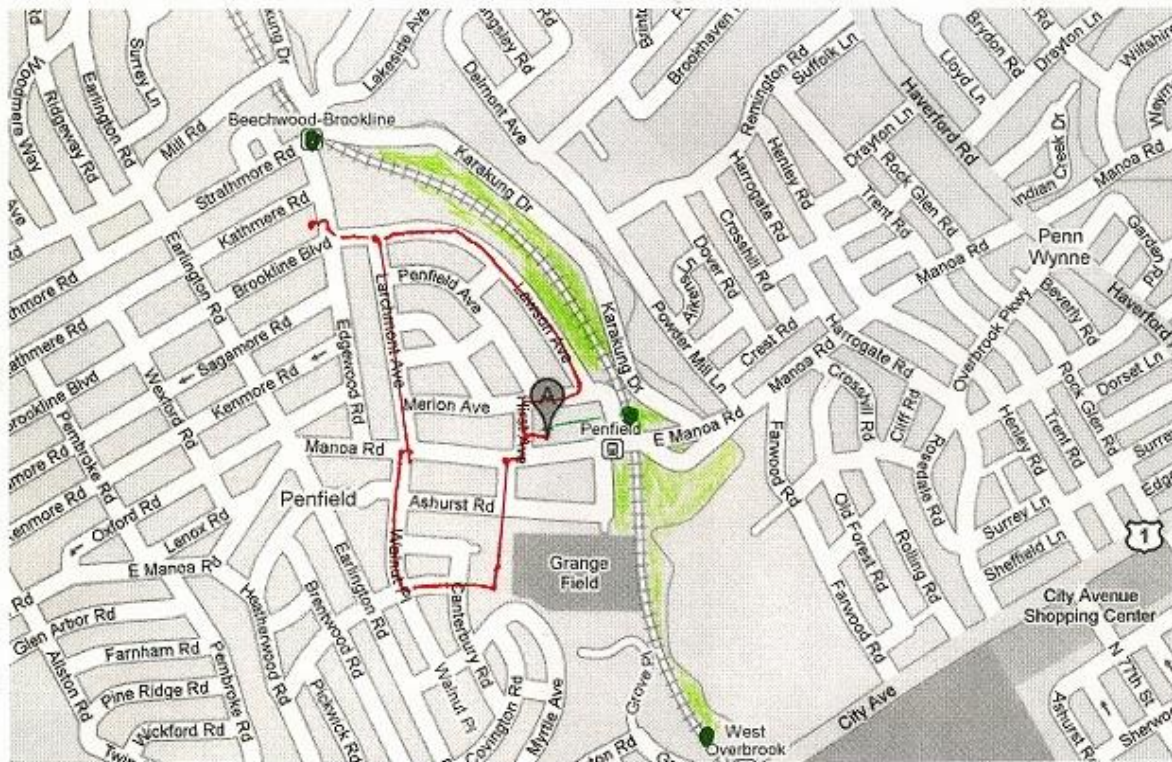
慾を言えば、現在フィラデルフィア現在の社会問題や事情について読める書物をもっと入れたい。毎月第三木曜日に働く。



書棚は左側の出口を経て、写真に見えるガラス張り書棚の後にも続く。

今日の朝は二人でここで働いた。

★★★



8, Nov. '08

Penfieldの村

僕たちの住宅（標識A）の南にグレンジ公園（Grange Field、地図では黒色矩形）。



野球場と児童公園からなるこの公園は大分広い。これは二つのテニスコートとジャングルジムに隣接して翻る星条旗。



グレインジ公園とWalnut路を繋ぐ路地風景。住民は40台の勤め人が多い。



このテニスコートは殆ど毎夕使われている。勿論使用料無料。写真には出ないが、付き添い両親たちが座るベンチもある。



公園に繋がる無名の路地。僕たち二人にとっては常用の散歩通路。



Diary. November10. Monday.

日記。E S T 11月10日。月曜日。

★ しんやから。(受信、11月10日、午前9時。)

ペンフィールド界隈の景色は美しい。春もいいが秋もなかなかのものだ。堪能した。

(大連中学8回生機関紙、)「あかしや」への投稿、歓迎する。よろしく。

今日は日が差さず、毛糸のものがないとちょっと寒かった。でも、こういう気候に僕は一番適応している。最近は大分調子がよい。明日が休みなのでメールはもっと書く。今日はそろそろ晩ご飯の仕度だ。進也、18時50分

★ しんやから。(受信、11月10日、午後11時)

昨日、エアメールで『環』35号と、ちょっとした中国ものの読物を送った。北京の骨董市を巡った話と、中国人知識人女性の生活の一端が知れる。

朝日新聞から出ている『歴史は生きている』という本を読んでいるが、ちょっと面白い。東アジアの近代史からトピックを10個取り上げて、それについての現状、並びに各国の教科書記述などを比較したものだ。新聞連載だから短い、比較がよい。この中で竹島がなぜ韓国で大問題になるかが書かれている。日韓併合の5年前に島根県がこの島を県に編入したことが、そもそも発端で、日本による侵略の第一歩だと言うことが名誉のかかわるという。よくわかる。もう少し読んでから報告する。11時40分。

★ 新潟の裏から。

11月10日(月曜日) J S T 6 : 2 5 P M

寒い寒い一日でした。

週明けからこんな調子では、勤労意欲に支障が出ますね。

(元々、勤労意欲は不足気味でしたが!)

学校では不調を訴える子が続出でした。

みんな風邪気味なのだと思います。

今日は朝起きてすぐにP Cを起ち上げましたが、とむさんのB l o gは

(当然のことながら)更新されていませんでした。

分かっていたが、ちょっとガッカリ。

やっぱり、「朝の一番が、とむさんのBlog」という生活に慣れているので、

それがその通り進まないと不調和をきたしてしまう。
何だか忘れ物をしたままで仕事に出掛けたような気分でした。

ところでとむさん、Blog の人気がジャンル別で 1 0 0 位以内に入っているのをご存知でした？
8 5 位ですよ！

何だかちょっと嬉しい気分です。
エロ・グロ・ナンセンスにまみれた巷に、しばしの安息をもたらすオアシスのよう！
このオアシスは、時々難問を突きつけられることもあって、いつものんびりして居られませんかどね。

★ T h o m a s から。

今朝病院体操からの戻り道、速力を出しすぎて交通警官に止められた。罰金 1 0 8 ドル。でも、若い警官の
丁寧な扱いかに感銘を受けた。

いつもの悪い癖。速力を出しすぎる。これだから、僕はチャックが傍に座っていないと、運転するべきじゃないと思っ
た。罰金はすぐにチェックを書いて、郵送した。

この B l o g を日記風に記すことが、はもうルーティーンとして僕の生活に定着している。

ピアノも、ベートーヴェンの F u r E l i s e を手がけ始めた。この一曲をものにするのには、僕のことだから
半年はかかるだろう。だいたい、ベートーヴェンの掌はものすごく大きかったのだろう。たった 2 頁の楽譜だが、一行、
一行覚えていく過程で左手が痛くなる。笑。左の小指から親指まで（低 L a から高ラまでの 1 オクターヴまでと
どかないから。とにかく、この曲はちょびりずつ覚えて半年は過ごす。）

8 0 の手習いだものね。

★

読者、ことに毎日ペタを押して励ましてくださってる皆さんへ。

**よろしかったら、僕の B l o g メッセージ欄を使って、ご芳名とハンドル名、貴方の E メール宛名、そして国際
郵便宛名をお知らせ戴けませんでしょうか？**

**国際郵便で、クリスマス賀状をアメリカから差し上げたいのです。日本各地の方々から通信を戴いて感謝い
たしています。**

T h o m a s

附記： 意識してアドレス・ブックを作らなかったし、B l o g 上では皆様全部が仮名なので、どなた様のアドレスも控えておりません。

Diary. November11. Tuesday.

日記。11月11日。

★ 新潟の襄から。

とむさん

朝一番にP Cを起ち上げてB l o gを読むのが私の一日の始まり。
昨日の朝は更新されていなかったので一日が乱調気味にスタートしたのですが、
今朝は何と、例の「メンテナンス」とぶつかり、ページを開くこともできないという有り様。
大いに落胆し、毒づきながら出勤しました。
「メンテナンスなんて、夜中に終わらせろよ！！」なんてね。

教会の内部の写真は綺麗ですね。
はっとするほど鮮やか。
室内でもきれいに撮れるというのが、あのカメラを選ぶ際の一番の選択基準でした。
で、この前話題になった「構図を決めるためのガイドライン」ですが、取扱説明書の
37ページ、「構図を工夫するために」というページに載っていますので確認してください。

G r a n g e F i e l dは、とむさんと一緒に歩きました。
良く覚えています。
子ども達が遊具で遊んでいました。
その母親達も数人いました。
テニスコートは使われていませんでしたが、公園の中を歩いて散歩しました。

見事な夕焼けでした。
帰宅時刻には真っ暗になっていましたが、明日も晴れると思います。

襄。

★ T h o m a s から。

すっかり寒くなった一日。正午前にチャックとペンフィールド集落を一周散歩。

落葉が進んでいて、そろそろ冬めき始めた。

今回の選挙運動で、オバマ集団は統制が見事にとれた勤労民衆把握ぶりを示した。
共和党の坊ややお嬢さん育ちの甘ったるい選挙運動ではなかった。

Saw, Randy.

Beyond the fields: Cesar Chavez, the UFW (United Farm Workers) and the struggle for justice in the 21st Century. (University of California Press).

が出版された。オバマが青年時代にシカゴで経験した community organizing は虐げられていた農園労働者を組織して、カトリック教会庇護下に闘った 1960 年代のシーザー・チャヴェズから学んだようだ。
「Yes, We Can。」は、移民労働者たちのモットー「Si Puedes」と同じだ。

このことを、今晚インターネットで読んで知った。

<http://www.truthout.org/111108LA>

★★★

Comments

1 ■ No Title

オバマ大統領の誕生は大きな変革を意味するものと信じています。

これによって日本も変わってくればよいのですが。

kanbe49 2008-11-13 01:53:29

2 ■ No Title

アメリカの根本産業だった自動車工業が破産寸前だと思います。オバマ政権がこれからの変革をどう扱うかを僕は推測することさえできずにいます。

前途多難ってこのことでしょうね。

thomas-penfield 2008-11-18 23:43:56

回顧録

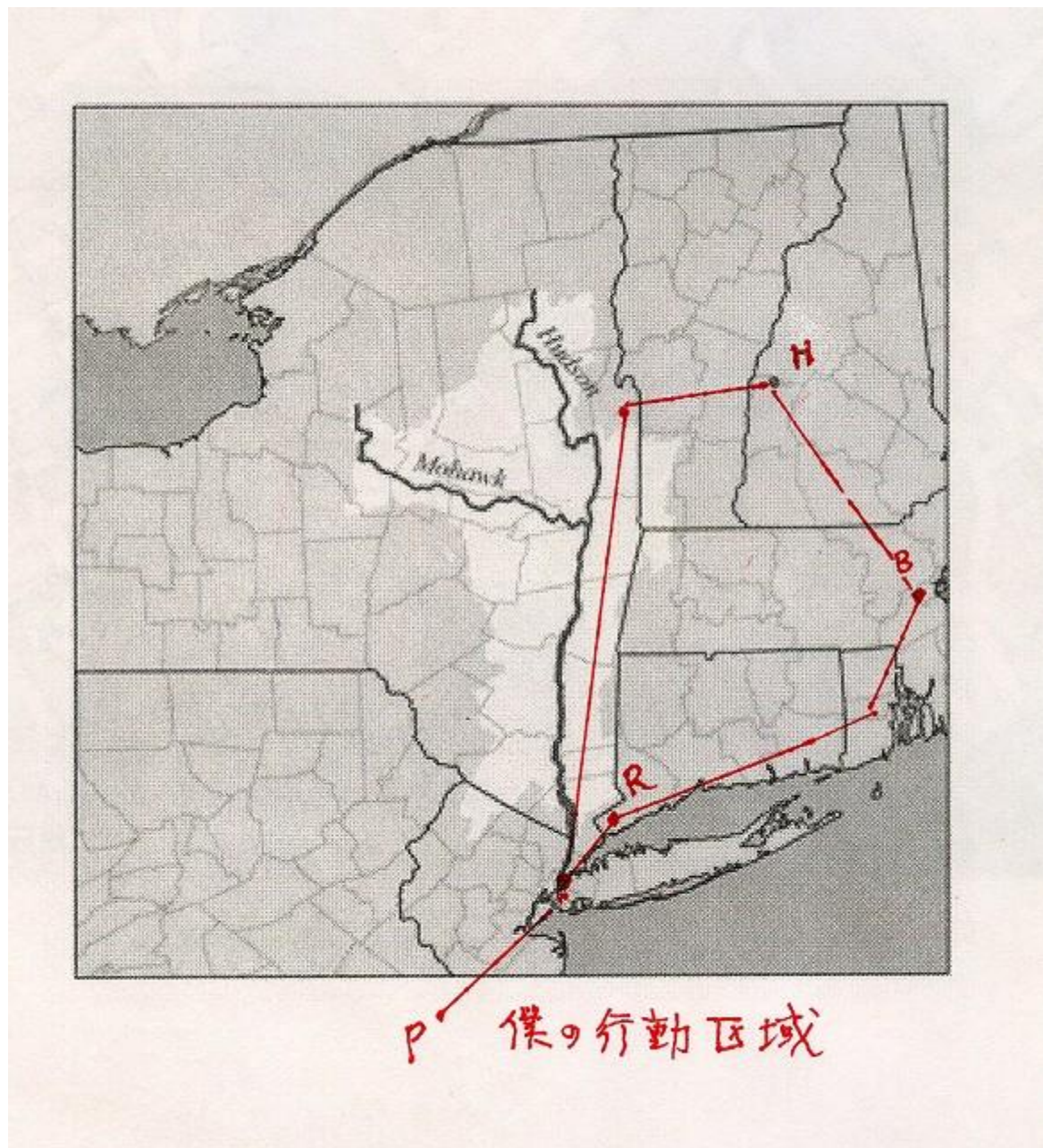
ハドソン河、タグボート（引船）、20世紀世代の終末。

November 14, 2008



オバマ大統領当選の数日前ニューヨーク・タイムスがハドソン河の水上運送を一手に引き受けたタグボート会社の総裁の逝去記事を読んだ。そして感慨にふけた。昭和も昔になりにつけり。あそこ、ニューヨーク市と北部ヒンターランドを結んでいたのがハドソン河だった。ジョージ・ワシントン橋がまだ目新しく感じられたご時世だった。

そして、北部農産地帯からニューヨーク市民が食べる野菜を持ち込み、ニューヨークから北部開発に必要な工業製品を運んだあのタグ・ボート（引き船）だった。



B: マサチューセッツ州、ボストン

H: ニューハンプシャー州、ハノーヴァー。ダーツマス大学。

R: コネチカット州、レディング

P: ペンシルヴェニア州、フィラデルフィア、費城。

1948年に来米して、ボストン（B）で1949年に一年で高校課程を修了したあと、僕は（H）ハノーヴァーにあるダーツマス大学に入学して1953年に卒業した。60年後の今僕は（P）フィラデルフィアに住んでいるし、長女アナスタシアは（R）コネチカットのレディングに住む。



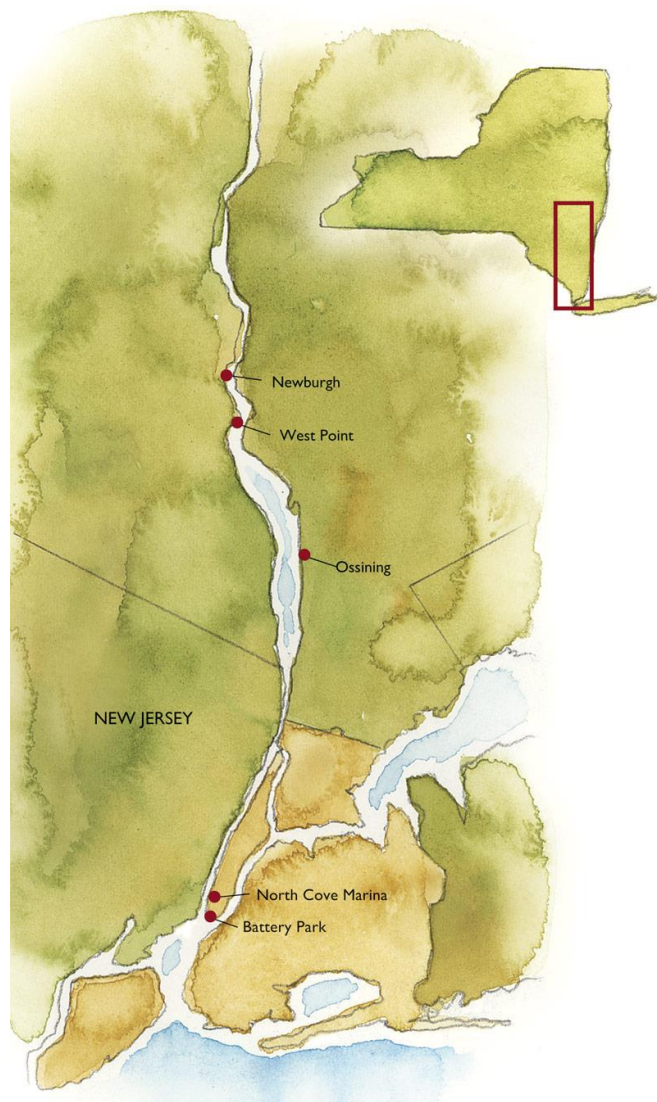
大學在学中のあの頃、高速道路なんてなかった。ボストンとハノーヴァ、ハノーヴァとニューヨークなどを結ぶ道路は舗装されていたとは言え、丘超え山超えの山道だった。



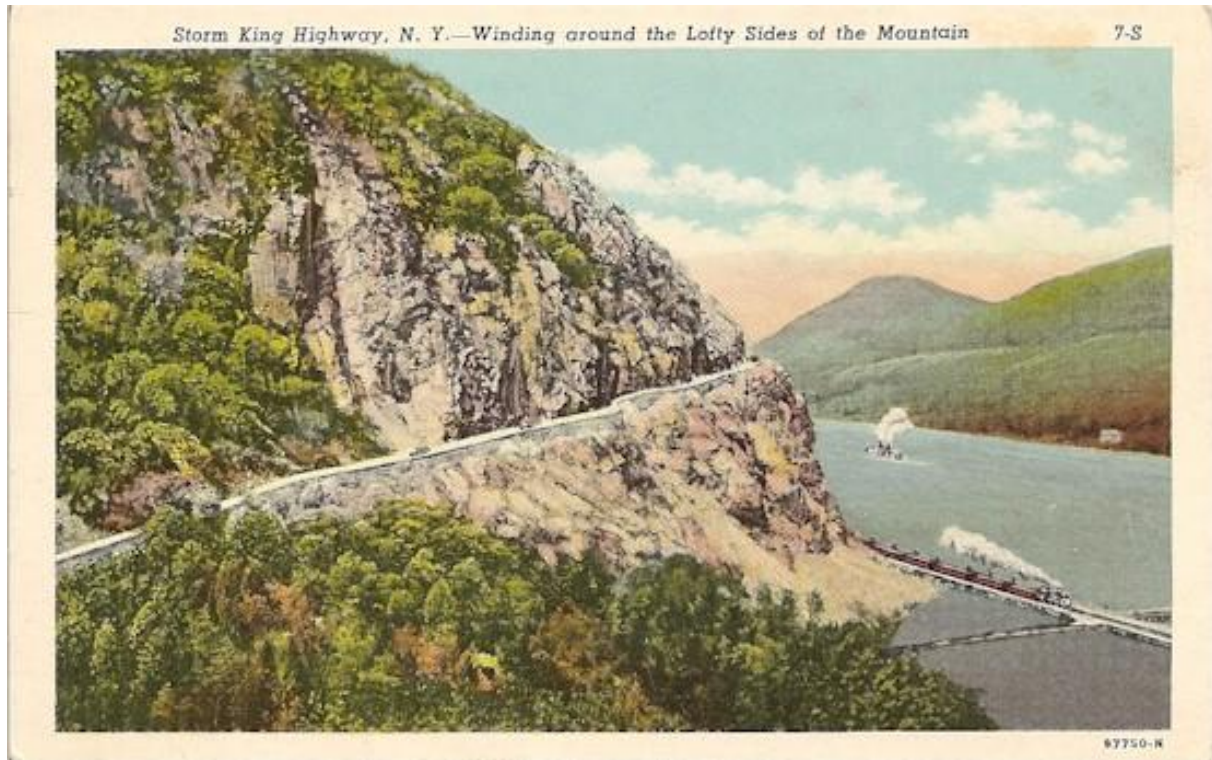
そして、超える山腹には白塗りの農家と大きな赤塗りの納屋がつくねんと立っていた。



ニューハンプシャ州のハノーヴァ（H）からヴァーモント州を西行して横断してニューヨーク州に至る。（前掲の地図赤線参照。）そして、南にながれるハドソン河の東側を南に引かれていた田舎道を級友たちと一緒にニューヨークに向って走るのが常だった。



ニューバーグやウエストポイントを遠望し、メリノール海外宣教会本部や州立監獄があるオスッシングを過ぎて、ニューヨーク市への橋を渡る。（ニューヨークは島であることを知らない人が21世紀になっても居るかも知れない。笑。）



そして、このような崖道絶景はほぼ忘れ去られかけてるし、こんな絵葉書はもうはやらないし、買えなくなった。





そして、今後このようなタグボートに未来があるかどうか？ 僕にはわからない。



★★★

Comments

1 ■ 深山幽谷

数年前ハドソン川の流域の Garrison,にある修道院に遊びに行ったけれど、ほんとこの絵葉書そのものでした。

100年ほど前は、まだまだ寒く、この山の修道院の冬は大変だったようです。今は、この辺りから、マンハッタンに通う人もいます。

にやにや 2008-11-14 00:46:57

Diary. November 12. Wednesday. 切り干し大根と前菜。

日記。東海岸時間、水曜日、11月12日。

★水曜日、12日。

午前9時にひさのさんが来訪。裏が送ってくれた宮崎県名産の切り干し大根を使ったオダーヴを工夫して披露してみた。笑。

切り干し大根は煮て、中国製松茸、海帯（昆布）、干し百合を水で戻して、全部一緒にソテーした。案外イケル。



二人で突っつき始めてから、写真撮影を忘れてしまったのに気づいて撮影したので、変てこになった。ごめんなさい。

C o f f e e に添えたオダーヴ。刺身皿を使って食べた。

日本製の深皿だが、左上から

- (1) red and green peppers, 緑と赤のピーマン。
- (2) commercial peanut butter and cheese biscuits チーズとピーナッツのビスケット。
- (3) 切り干し大根煮つけ。コクテルカップに盛り付けた。
昨夜わんさと食べた残りなので、一寸しか残っていない。
- (4) Italian pepperoni イタリア製ペパロニ・ソーセージ。
- (3)
- (5) Jewish Gefiltefish. ユダヤのゲフィーテフィッシュ魚団子。
- (8) Wisconsin cheese ウィスコンシン産のチーズ角切りが真ん中。

深皿の下が、

(6) 中国製橙色どんぶりに盛った（大根のつま。（乾隆製と裏底に銘うってある贗物。笑。）このつまは Food Processor を使った速成。

- (7) 深皿の右上の日本製御椀に盛ってあるのがテキサス名産のサルサ（メキシコ風トマトと生野菜和え物）。
- (8)そして、日本製T u b e 入りワサビを添えた。緑色P l a s t i c T u b e .

チャックがM a x i m a l i s t なので、客室のC o f f e e T a b l e には彼のガラクタ記念品が満載されていて閉口する。右上端に見受けられるタミ下敷きには仏壇をまねた聖ヨセフ祭壇がチョコンと乗っかっている。聖ヨセフ像の安物に金色ペンキを吹かけて金像に変えた。聖ヨセフもいい迷惑だろうが。お気の毒。

★ 新潟の裏から。

1月12日（水曜日） J S T 7 : 0 2 P M

とむさん

今頃の季節に何度お目にかかるか、というような良いお天気でした。
裏日本は、秋からグズグズし出したお天気がそのまま雪を運んできて
冬へ突入！！というパターンですから、こんな日は本当に珍しい。
勤めそっちのけで、紅葉狩りにでも行きたい気分でした。

さて、「エリーゼのために」の練習を始めたということはお聞きましたが、
速度違反で罰金、という話は電話でお聞きしていませんでした！！
このところ、車でゴツンの自損事故、ぶつけられた被害事故と続いていますから、

くれぐれも気をつけてください。
スピード違反なんて、困ります！

切り干し大根は、水でもどしたらすぐに調理して、
あまり時間をかけずに食べ切ってください。
またお届けしますから。

今度は正直に「Dried Radish」と書きます。

襄

★ Thomasより。

○ Fur Eliseは未だに最初の二行だけを繰り返してます。チャックが一寸可哀想だけど。笑。
とにかく、左手を酷使用する曲ですね。一節、一節暗記して、目隠ししてでも弾けるまで繰り返してます。

○ それから、ベトナム戦争中にミルオウキイ市で活躍したイエズス会神父が居ました。名前を思い出せない。
彼はシカゴで活躍したアリンスキイとも関係があったらしい、貧民窟にとびこんで組合式な団体を作る活動で知られている。1937年ごろにムツリリーニに殺されたアントニオ・グラムシの著書を彼らは読んでいたらしい。

オバマ大統領が当選したあと、調べてみたら日本にはグラムシ著書がわんさと翻訳されているのを発見した。
日本では石堂清倫先生が紹介し始めたらしい。アマゾンで調べたら英訳本は大分出ているけど、高価で全てを
買うわけにはいかない。

僕はイタリア現代史に疎いから、ぼつぼつ読み始めます。

★★★

Comments

1 ■ なんだか・・・

不思議な感じがします。

早速切干大根の煮付けを作られたんですね。

オレンジ色のピーナツバタークラッカーほか、多国籍に盛られているので、写真を拝見した時におもしろい！ と思ってしまいました。

大根はツマとして召し上がるのもよろしいかとは思いますが、サラダとしても十分おいしいですよ。市販のポン酢(そちらのオリエンタル
マーケットではポン酢は手に入るでしょう)にさらに少々のお酢(穀物酢があるといいのですが、ハインツなどのホワイトビネガーやアップルビネガーでもいいと思います)とオリーブオイル(少量のオリーブオイルは糖尿病の患者さんでも摂取可だと思います)を混ぜてドレッシングとし、トッピングに鰹節や海苔などをばらっと載せます。

葉物などの青みが入るともっときれいかもしれませんが、これでおいしいサラダができます。

ドレッシングの濃度はお酢やだし汁で調整してみてください。

でも、今回の切干大根、Welldone です！

私は今しがた、ひじきの煮物をこさえました。

くまじり 2008-11-15 13:23:22

2 ■No Title

酢、鰹節、海苔の T o p p i n g とはね。どうもありがとう。さっそく、ためします。

ツマにするのは、食べられないご飯に連想できるからです。日本式ご飯で育ったので、白いメンがやめられない。笑。

書き入れありがとうございます。

thomas-penfield 2008-11-15 14:36:07

Diary. November14. Friday.

日記。金曜日。東海岸時間、11月14日。

★ じめじめと秋雨が降る一日だった。午前中チャックと C i r c u i t C i t y に行って Z e n i t h の D i g i t a l T V T u n e r / C o n v e r t e r 二台を買った。来春からTVがHDに変わるとのことで、政府がクーポンを発行している。もちろん、僕は全てがチャックまかせだけど。月曜日にチャックがすえつけると言っている。

C i r c u i t C i t y で歩き回っていたら、チャックがこの店（C i r c u i t C i t y）が破産するんだと言っていた。

経済状況で運営が火の車だそうだ。

郵便局にたちよって、国際郵便切手を20枚買った。日本への手紙は一オンスにつき、94セントかかる。

裏が送ってくれた「干し大根」を水に漬けたあと、気がついたのだが、どうも青いと思ったわけは大根の葉の干し物だったからだ。干し物を煮ると、チャックが臭いと嫌がるから、明日彼が出勤して教会で一日過ごしている間に煮てしまう。僕は臭みに全然無頓着なのにね。国際生活は複雑。

ピアノはバイエル#55と#66の間を往復しては、暗記し続けている。そして、毎日のエリーゼ練習。一寸鬱気味になると、僕はピアノの前に座って鍵盤をたたく。#66にはすっかり慣れた。一種のオハコだ。

★クマジリさんが、干し大根について書き入れてくださった。ありがたい。アメリカ製白酢に E q u a l をとかすと、案外使える甘酢になることも覚えた。ポンスは好きだけど、老人年金生活には高価すぎるから。

★そうそう、ボーダーズ書店ですばらし世界地図アトラスをチャックと買った。アラブ連合王国（United Arab

Emirates)のデュバイの写真を見て、アラビア半島地理について無智なもんだと二人で話し合ったのだ。

英国国籍の教え子が一人ロンドンで結婚したあとオマンに赴任したけど、消息が切れてしまった。

★近頃、アメーバが不調。とても使いにくい。頻繁にF o r m a t t i n gが崩れて、画面掲載が減茶苦茶になる。

困ったことだ。

★ 新潟の裏から：

11月15日（土曜日） J S T 5：52 P M

とむさん

今日もお電話に出られませんでした。すみません。あちこち、買い物に出掛けていました。家内が、「とーますさんからお電話でしたよ。」今日はピアノの話をした、と言っていました。

切り干し大根、かんぴょう、ひじき など、干物をさがしてみました。いくらでも売っています。しかも、どれも値段は安い。国産は、少々高く付きますが、それでも大したことはありません。中国産は、更に安いですけどね。お届けした方がいいでしょうか？まだ先の方がいいでしょうか？

いくら干物とはいえ何時までも保存できるものではありませんし、余分に溜まってしまっても困るでしょうから、都合の良い時にお届けします。「浅漬けの素」と一緒にお送りしますから、いつでもお申し付け下さい。本当に安物ばかりで私の負担はほとんどないので、ご安心くださいね。

切り干し大根は、西日本では「千切り大根」と呼び、国内生産の9割が宮崎県（九州です。例の、小村寿太郎の出生地）産なんですって。

今日のB l o g、チャックさんが「M a x i m a l i s t」と紹介されていましたが、その意味が分かりませんでした。

★ T h o m a sから。15日、土曜日、早暁。

○ 干物のことありがとう。品切れになり出したら、電話でお話しましょう。

○ 何でも並べたがるのがマキシマリストで、あまり並べたがらないのがミニマリストです。

でも、チャックほど気を使って買い物する人は少ないことでしょうね。娘たちへの贈り物にしょっちゅう気をつけていて、木箱のトランクに買っては保存しています。だから、クリスマスになると買い漁ることがありません。

ロンドンでだった何時も細かく買っていました。笑。あんな父親は珍しい。事実僕の娘二人には父親が二人居るわけ。

★ 午後7時半。

晴れたり、降ったりの日。散歩に全然外出しなかった。そして、読書とピアノ練習で明け暮れた。

チャックはまだ教会から戻らない。

★★★

Comments

1 ■ No Title

ぼんずはアメリカでは高いですね。

お醤油にレモンを絞って入れると風味としては良く似ていますよ。

我が家はそろそろ檸檬の収穫時期です。

お正月の飾り餅にのせるだいたいも最近は蜜柑に変わってきていますが、それでも縁起をかついで収穫します。

銀杏もおいしい季節になりました。

きみかげそう 2008-11-18 18:07:41

日米通信 東亜の未来。

November 17, 2008

日記。土曜日、11月15日。

★ 東京のしんやから：

9:57 PM (7 hours ago)

ひろし、

こちら今日は雨だ。ただし気温は高い。

木更津に行きたかったけれど、雨と気分の問題で取りやめた。約束の原稿と、大連会の会報をレイアウトしなくてはならない。じつはあまりやりたくなくて遅れがちだ。こういうことに熱心だった僕にしてはいささか変だが、さすがに根気が薄れてきたらしい。これも老化か。

そういえば、（君が書いたように）夏家河子が正しかった。家と河が逆だ。

世界政治叢書『日本・韓国』（ミネルヴァ書房）を入手。戦後の政治状況を並列して書いたもの。常識的なこ

とだが、整理されているので便利かもしれない。読んだら送ろうか。進也、12時

★ Thomas（日本名：ひろし）から。

ミネルヴァ書房の書、たのむ。ことにうまく整理されているのなら。

昨日、チャックがボーダーズ書店で最近刊の「世界地図」を買ってくれた。人工衛星から撮った写真をもとに編集したらしいが、便利だ。ただし、千島列島の所謂北方領土部分を括弧でくくってある。

その地勢図を見て仰天した。千島列島って案外戦略的な価値を持つものなのだね。道理で、スターリンが日本降伏当時に北海道割譲を要求したわけだ。露西亜領土を完全に太平洋進出に備えて露西亜領域として区別できるから。

昨夜寝床のなかで読んで感心したくだり：

「インドはイギリス直轄の15州のほか、およそ700の貢納国家に分かれ、宗教的言語内に分散しているため、イギリスは大軍を置く必要はなかった。日本陸軍はインドの何分の一にも満たない「満州国」を鎮圧するのに、数十個師団（最高75万人）を配備したのにたいし、イギリスのインド兵力は5万人程度であったことは、イギリス人がヘゲモニーによる統治をはかっていたことの傍証になる。」（石田清倫：20世紀の意味。平凡社、2001）

僕がアーケンソーのフォート・チャフィーに居た時、その第五師団の兵力が5万だった。そんなちっちゃな兵力で全インド領土を統治していたことになる。日本はインドの一部にも満たない満州国を鎮圧し、たった10年の統治を遂行するのに最高にしろ75万名の兵力を使ったわけだ。しかも、たった10年の間だけにね。

ブッシュ政権後期になって、米軍のイラク戦略はやっとこさの重いで、武断から文治への方角転換を思いついたわけだ。

しかし、時既に遅しだろう。Infrastructureは殆ど破壊されてしまっている。日本の朝鮮統治も1910年に併合し、1919年に武断統治の矛盾が爆発して、斉藤実が文治政略に転換して25年ばかり保持できたわけだ。

経過がよく似ている。9・11事件からもう7年たった。その点、英国政府はずっと手際が良い。アイルランド統治は700年だものね。そして、未だに北部でぶすぶすと問題は続くものの、表面化する事件は収拾されている。この点で、東洋の外交と政治は幼稚くさい。しかし、米国の場合、アフガニスタン社会の性質を方向転換すると主張したオバマ政権がどれだけ理解しているか、僕にはわからない。

★★★

Comments

1 ■ 歴史

私はカナダに来てからイギリスやほかのヨーロッパの西側諸国、中東の歴史に少し興味をもつようになりました。調べてみると、ヨーロッパ人がアフリカやアジアに対してしたことを野蛮と感じたり、政治的な駆け引きに長けていると思いました。「東洋の外交と政治は幼稚くさい。」の裏返しですね。

カナダで仕事をしていると、イギリスやその他の common wealth countries の人たちに会います。白人の男性がジンバブエから移民してきたと言っていたので、「イギリスは一体何をアフリカでやっていたの?」と興味がわきました。南アフリカからの白人もたくさんいます。日本にいてはイギリスの先進国としてのよいイメージしか伝わってきませんが、つい 5、60 年前までやってきたことを考えると「なんて人たちなんだ。この人たちは信用できないかも。」と思いました。手元にあるフランスで 1920 年代に出版された世界地図帳を見ると、アジアは植民地だらけで腹が立ちます。

kitty 2008-11-19 03:49:24

2 ■ No Title

Kitty さん、おひさしぶり。

そのとおりです。上海の共同租界の英国人だって、おなじことだった。ただ、[紳士的で]手際がもう一寸綺麗だっただけ。

thomas-penfield 2008-11-19 06:09:54

Diary. November16. Sunday. 宮崎千大根葉。恩津宋氏在米一族。

日記。日曜日、11月16日。

★曇ったり、降ったりする日曜日だった。

○ コネチカットの長女、アナスタシアから正午に電話。クリスマスについての打ち合わせ。彼女宅の改修工事がクリスマスまでに完了する見込みがないそう。それで、一家は家内マリカ宅に皆で集まる。問題は全然ない、マリカの隠居宅はリッジフィールド村でアナスタシア宅があるレディングから5分も離れていないから。チャックと僕二人はマリカ宅に4泊厄介になるわけ。

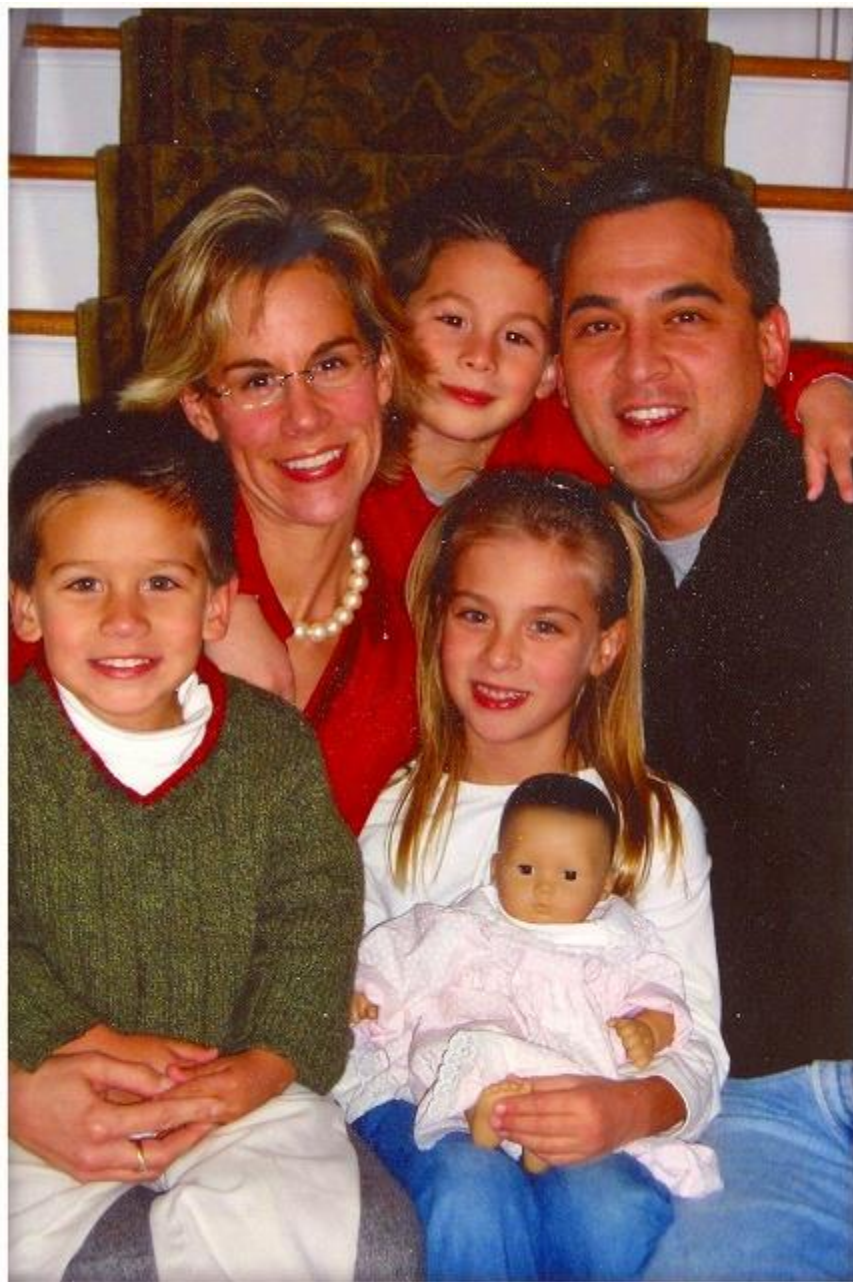
12月22日月曜日の午後1時にアナスタシアがリモジンを差し向けてくれる。4泊して、12月26日金曜日にフィラデルフィアに戻る。子供たちに厄介になる八十路になりました。



裏が送ってくれた宮崎産の干し大根葉を工夫して料理してみた。戻した干し百合と落花生と干し大根葉を椎茸を昆布だしで煮て、「京都炸醬」を一匙だけ加え、メキシコ製のS a l s a V e r d eサルサ・ヴェルデと一緒に白大根ツマにかける。

プチ・トマトをあしらう。S a l s a V e r d eは スーター・マーケットで売ってる。

案外いける。ことに、ウイスキーと一緒にね。笑。



これは甥のマイケル・ソングー家。在米次世代の一組、（恩津宋家第26世と27世。）

父親のマイケルはドイツ系・朝鮮系混血。母親は英国系。

僕たち米一族は9民族から構成されている。60年前の昔には想像もできなかった。
これがアメリカ。

★★★

Comments

1 ■ニュー・ファミリー

素晴らしい家族写真ですね！

米国に於ける異人種同士の結婚は1970年代には約5万組だったそうですが、2005年には300万組を超えるまでに

増加したそうです。

また予想では 2 0 4 0 年代には全人口の半数以上が有色人種になり得るようです。

また長い侵略の歴史から解かれる為に永世中立国になったスイスでは、昔から多人種の血が混ざれば混ざるほど優秀な子供が生まれるとも言われ、純粋な血統がもてはやされる状況では無いそう。

昨夜放映されたの CBS・6 0 Minutes では、ミッシェルがオバマ当選の感想を聞かれ、「彼が大統領になれるなんて、アメリカはなんて(素晴らしい)国でしょう!」と言っていましたね。

多民族都市・NY シティは、オバマ当選直後の興奮がおさまった最近でも、以前より温かな空気が街に流れているような気がします。

地下鉄に乗っても、誰もが真っ直ぐ正面に顔を上げ、下を向いて目をそらすような乗客が減り、また未だ厳しい状況の WallStreet でさえ、ランチを取る人々の表情は多少なりとも穏やかになったと

感じます。

難問ばかりの現状の米国で、オバマの前途も多難だとは思いますが、国民も HOPE をもって、オバマと共に難関を越え、米国の Change を計る意識が感じられ、また誰もが世界平和に繋がればと願っているように感じる今日この頃です。

God Bless America!

NY マム 2008-11-18 03:20:43

2 ■ No Title

書き込みありがとう。

同感です。

thomas-penfield 2008-11-18 22:42:24

3 ■ No Title

本日、やっとここを読みました。アメリカの広さ深さを改めて感じた次第です。

理恵子 2012-04-02 16:50:27

4 ■ Re:無題

> 理恵子さん

ありがとう。

thomas-penfield 2012-04-02 17:17:21

Diary. November17. Monday.

日記。1 1 月 1 7 日。月曜日。

薄曇の月曜日。病院体操後、午前十時半にチャックとプリンモア薬局、銀行、荒物や、ジェニユアルディ超級市場を巡歴したあと、B o r d e r s 書店で通例の一服。

David Potter *Emperors of Rome, The story of Imperial Rome from Julius Casesar to the last Emperor.* London, Quercus, 2007.

を見つけて飛びついて買った。

ふんだんに挿絵を使った豪華版。昔買って、愛蔵している、

John Haywood. *The atlas of past times.* London, The Brown Reference Gp, c2002

と対照しながら読める、門外漢僕の老齡期読書には好適な、読みやすい最近刊行の書。

80歳になって、羅馬史を読むとはね。東洋で育って、僕は少年時代に羅馬古典なんて読む素養下地がなかった。そして、まわりが戦争に明け暮れた世の中だった。

一日中、ピアノと暮らした。チャックは一日中家屋と庭の手入れをして過ごした。

Diary. November18. Tuesday. オバマ。米国自動車工業。

日記。11月18日。火曜日。

今、19日早晩午前1時。華氏28度。相当に冷える。昨日は一日中引き籠もった。窓外の落葉樹はほとんどが裸になってしまった。居間の窓の前に老いてある花箱のインペイシャンスはまだ赤く咲き残ったまま。

Economist、Nov15-21号、Newsweek Nov24号が共に届いた。エコノミストは環球財政問題について、ニュースウィークはオバマのリンカーンという標題で両者を比較しながら書いている。オバマは内閣組織中らしいが、No drama Obama 無劇オバマと評された選挙運動時期に比べて、無劇どころか過多劇内閣を編む気配があるとニュースウィークが書く。一癖ある有能で、強気な連中が内閣員任命に考慮されているようだ。

無ドラマ、超紳士的で、控えめなスタッフジャワシントンは泳げまい。

選挙仇敵だったクリントン女史国務総理任命も囁かれている。

現在米国の3大自動車会社GM, Chrysler, Fordが破産に瀕していて、民主党はしきり国家救済をブッシュに迫っているが。深刻なことはたしかだ。

★

G Mが破産すると、当初 2 5 0 万の労働者解雇が生じると予測される。自動車を作るのに下請けされる必要部分品の数が 4 0 0 0 から 6 0 0 0 個あるそうだ。 "If you don't have one, you can't make it."

破産するや、途端に 4 0 0 0 から 6 0 0 0 の企業が行き詰まり、被解雇人口が膨れ上がる。

現在、国内失業率は 6 . 5 %から 8 %に上昇しつつあり、1 千万失業者総数のうち 2 5 0 万人が六ヶ月以上無職であるそうだ。

しかも、3 大自動車会社と共倒れになりそうな U A W自動車労働者聯合組合は 7 8 万の隠居した年金生活者を抱えている。そして、U A W組合との契約で、労働賃金がべらぼうに高い。

未来の救済案について、僕が信用する経済学者、ロバート・J・サミュエルソンは楽観的ではない。

★ N e w s w e e kが大統領当選演説をしたオバマの大統領をリンカン大統領に比較している記事を昨夜寝る前に読んだ。

そしたら、紐育の金さんが以下を E - m a i l で送ってきた。

○ リンカン大統領と ケネディ大統領の 100 年 差の 奇しき 運命

アブラハム リンカンは 1846 年に 下院議員になった

ジョン エフ ケネディは 1946 年に 下院議員になった

二人とも みな 特別に 人権伸張に 関心が 深かった

二人の 夫人は とともに 白亜館時代に 流産した。

両大統領は 同じ 金曜日に 狙撃された。

OA 両大統領は 同じく 頭部に 銃撃を 受けた。

リンカンの 秘書の 名前は ケネディだった。

ケネディの 秘書の 名前は リンカンだった。

両大統領は とともに 南部人によって 狙撃された

両大統領の 後継者は とともに 南部人であり 同じ名前の Johnson だった

リンカンの 後継者 J o h n s o nは 1808 年 生まれであり

ケネディの 後継者 J o h n s o nは 1908 年 生まれであった。

リンカンの 暗殺犯人 ジョン 2 オカス ブースは 1839 年生であった。

ケネディの暗殺犯人 ハベイ オス ワルドは 1939 年生であった。

両方の暗殺者の 名前は ともに 3 語であり 15 字であった。
二人とも 裁判の 前に 暗殺された。

リンカン は フォード劇場で 狙撃された
ケネディは フォード製の リンカン乗用車の中で 狙撃された。

リンカンが 暗殺される 一週間前に メリランド州 モンロウに居た
ケネディは 暗殺される 一週間前に マリリンモンロウと 一緒に 居た

○ 酷く気味がわるい比較描写だ。

★

1948 年、即ち 60 年前世界第二次大戦直後、僕がアメリカに着いた時、自動車工業は米国繁栄を支える基本産業でピッツバーグの製鋼業は自動車工業を後ろ盾に黒煙を吐きまくっていた。ダーツマス大学同窓のチエルニウス君はリトワニア首相の息子だったが、彼の父上はミシガン州フリントの GM 工場で職工として働いていると僕に話した。僕は崇敬の念に駆られたのを覚えている。働くことが尊ばれていたし、アメリカ労働界には当時勤勉さ、謙虚さ、真面目さが充満していた。そして、その事実が 1950 年代の繁栄を支えた。（勿論働く代償はきちんと要求された。）

朝鮮戦争とベトナム戦争後、日産の小さな車、ダットサンがカリフォルニアに上陸したのが 1970 年だった。

せせら笑っていた米国自動車工業はやがて競争が深刻になると、意地悪くするつもりだっただろうが、日本会社にアメリカに投資して、生産を米国に移植しろと迫った。

この要求に「恐らく渋々ながら」、日本工業界が応じた。米国会社が君臨する北部を避けて、処女地帯だった南部に工場を作り始めた。北部工業地帯の雇用状態は飽和していたし、土地代が高騰しすぎていたからだ。予期に反して、日本工業の南部進出はアメリカをどんどん変化させた。

下部構造変化には上部構造変化が伴う。マルクスの定説にすぎない。

若い白人子弟は大学を出るや、雇用制度が厳しく、年功序列が爛熟している北部に応募するはずがなかった。

職を求めて彼らはどんどん南部に流れたし、南部の州政府は日本工業進出を歓迎したし、工場建設とともに、低収入向きな住宅地が開発（そして、共和党にとって在来の黒人嫌い連中の支持は不可欠だった。）

第二次世界大戦前に、南部の黒人差別が原因で黒人の南部から北部への移住が目立った。北部のフィラデルフィアの黒人比率が国内移住によって全市人口の半分以上を超えた。最近の報道によると、黒人知識層の南部への逆流が目立つそうだ。アトランタなどの都市では、黒人中流階級の発言力がとみに増加したらしい。

日本車と韓国車も自動車販売世界を侵食し始め、やがて購買のほとんどを占めるようになってしまった。

以上は僕の素人感想だ。

Diary. November19. wed. 昭和からの遺言。写真日記ランケナウ病院。

日記。11月19日続。& 11月20日。米国東海岸時間、午前2時15分。

★新潟の裏から。

11月19日（水曜日） J S T 8 : 0 3 P M

とむさん

ついに初雪です。

予報では雪が告げられていましたが、初雪は山を白く変えるところから始まり、順々に里に降りてくるはずのものなのに、一気に来てしまいました。

退勤時刻になって外に出たら真っ白。

少しも気付かずに仕事をしていました。

勿論、車も雪を被って真っ白でした。

窓ガラスの雪を払い、前後のワイパーで視界を確保した後、それはソロソロノロノと時間をかけて走らせて帰宅しました。

大急ぎでT O Y O T Aに電話。

タイヤ交換を依頼してタイヤを運び入れ、無事交換して貰いました。

これで安心です。

B l o g ですが、いつも超大盛り料理なので、それに比べたら内容は少ないですが、十分な量ですよ。これに写真が一枚添えられていたら、申し分なし！

B l o g としての体裁に何ら問題はないと思います。

決して無理せず、楽しみながら続けて下さい。

私は村の風景が大好きですから、それを楽しみにしています。

クリスマスの飾り付けがそろそろ始まりますよね？

雪が降るほど寒いのに、学校にはまだ暖房が入っていないなんて、ひどい！
寒い寒い一日でした。

★東京のしんやから。

● 図書新聞の校正の後、日暮里に行き、荒川区が主催するファッションショーに行った。なぜかという、このファッションショーに大連からモデルが来ていて、それが大連中山区との提携なのだそう。いや、勉強になりました。ファッションショーなんて見たことないもの。

そんなことで遅くなり、メールもやっと書ける。

明日は紫藤夫人（＊）のところに行く約束。 まだ忙しい。進也、20時45分

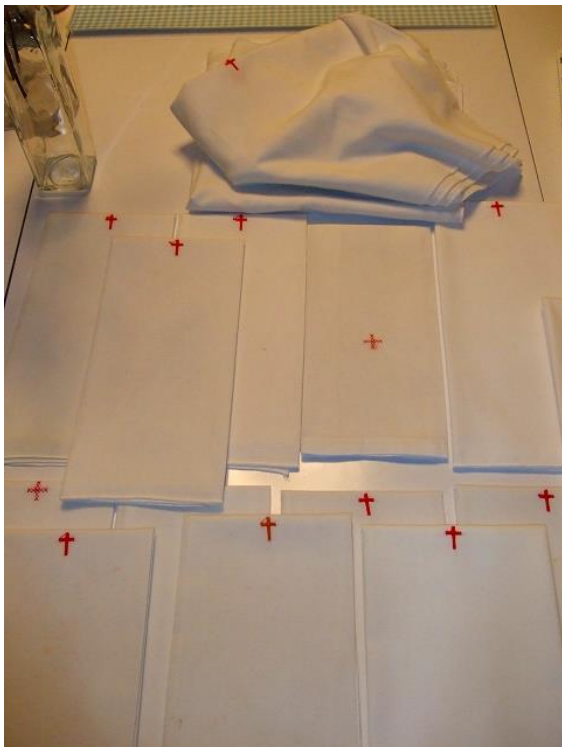
（＊： 僕たち大連中学8回生の大黒柱だった故紫藤貞昭君夫人。）

● 続信。On Nov 19, 2008 7:44pm, Shinya Yaguchi wrote:

紫藤夫人を訪問するつもりでいたら高君から電話で一緒に行くというので少し早めに行く。彼もおしゃべりがしたいのだろう。

今朝は大分寒くなった。図書新聞は今月いっぱい休める。進也、9時45分

★ 今日の写真日記。11月19日。水曜日。



朝起きてみたら、C h u c k はまたぞろ教会聖餐式に使うための聖布の始末で、洗濯とアイロンかけ済みが積もっていた。



午前9時半にランケナウ病院でC h u c k が定期検診を受けるので、二人で病院に午前9時についた。ランケナウは僕たち宅から5分も離れていない。1990年から95年にかけて、僕の母もここに随分お世話になった。馬鹿でかいほどでかい、広大な病院だ。各棟が廊下で繋がり、内庭が設けてある。



このエスカレーターの下に一寸したコーヒー販売店があって、客用食卓が散らばって設けてある。



C h u c k が検診を受けているあいだ待つ僕の癖はここで、N Y タイムスか本を読む。写生道具を広げて絵を描くこともある。今朝はN Y タイムスを読んだ。血糖値が上がっているので、C o f f e e と C h i p s は遠慮した。



検診が終わったあと、StratfordのAmish市場に二人で行った。
Driveするには、相当な距離だが。



これは、駐車したお隣のSpread Eagle Village市場。お上品な趣味店集落で、Stratfordの農夫市場とはまた別。ただし、駐車しやすいから、僕たちは駐車にここを使う。駐車場が広い。

そして、ここにはC h u c k 愛用の趣味店（高級骨董的ガラクタ品専売）がある。



アーミッシュ文化独特のソーセージや野菜数種などを買って、正午すぎに戻った。

★ T h o m a s から。

僕たち朝鮮族の人間も、沖縄の人が書いた、下掲の遺言を肝に銘じるべけだと思ふ。
この遺言は日本、日本族に限られたものではない。

朝鮮半島でも、武断化して、南北に分かれて殺しあつた。
そして、革命を偽って独裁化した北朝鮮暴政の悲劇は、朝鮮半島が列強各国に囲まれたまま今も続く。
そして、同族相食む現実も。

これを読んで、沖縄には凄い指導者が居られるものだと、感心した。

★ 週刊朝日の今週号（11/28）の連載記事「昭和からの遺言」に、大田
昌秀・元沖縄県知事のインタビュー記事が掲載されています。その中
から戦争体験を語っている部分を引用します。

私たちは、まるで試験管の中で純粋培養されるような格好で皇民化教育を受けました。沖縄では、昭和初期に社会主義運動が弾圧され、その後は「国体の精華」以外について書かれた本は読むことすらできなかった。「水際作戦」といって、危険なイデオロギーと判断された書物は、島に入港する船の中で取り締まって、一切上陸させないという政策をとっていたわけです。

私は師範学校の図書室で、どこを見ても「国体の精華」をうたった本ばかりなものだから、近くに先生がおるのも知らず、つい「みんな同じ本ばかりでつまらん」と、独り言を呟いたんですね。そしたら書棚の裏から先生が出てきて「貴様なにを言ってるんだ！」と、顔を殴られたことがあります。

本土ならば密かに他の思想書に触れることもできたのですが、私たちは文字通りの純粋培養で、聖戦に疑義を持たず、純真に皇国のための戦いを信じ込んでいたんです。

昭和 9（34）年に、当時の沖縄連隊区司令官石井虎雄大佐が陸軍次官に送った、沖縄防備対策という機密電報が、防衛省の防衛研究所に残っています。その対策の一項目に、戦争になった場合、沖縄県民を厳重に監視すべし、という趣旨のことが書かれているんです。琉球はかつて独立国だったから、天皇や日本のために命を捧げる意識が、本土他府県に比べて著しく劣っていると言っているわけです。

それで昭和 19 年に着任した牛島満司令官は、「軍官民の共生共死」「一木一草も戦力化すべし」という訓令とともに、「防諜活動には特に注意すべし」と述べたのです。

この訓令を具体化したのが、昭和 20（45）年 3 月、極秘裏に結成された国土隊でした。県会議員や学校長、医者に農協長といった地方名士約 30 人で結成されたこの隊の目的は、反軍的だったり非戦闘的な言動をしたりする人たちを見張って、軍司令部に密告して処刑させる役割だったんですね。

4 月に米軍が沖縄本島に上陸すると、沖縄守備軍司令部の軍会報に「軍人であろうと非軍人であろうと今日から日本語以外で話すのを禁じる」という命令が掲載されました。沖縄方言で話をする者は間諜として処分するというんですね。当時、沖縄の 60 代以上の人のなかには

方言しか話せない人たちがいた。まして戦場という極限状況下では、生活になじんだ言葉しか使えませんよ。それなのに、方言を使ったからスパイだと決めつけられ、処分された人がたくさんいたのです。

米軍から食料をもらった避難民をスパイという口実で集団虐殺した記録もあります。そのとき、まだ口の利けない1歳2ヵ月の幼子までスパイだといって殺しているんですね。

牛島司令官の訓令にあった“共生共死”なんてなかったんです。住民の蓄えた食料を銃で脅して奪う兵は後を絶ちませんでした。これが集団自決に結びつくわけです。沖縄県民には軍との“共死”しかなかった。

摩文仁の戦場で、東京文理科大学を出た「白井さん」という兵長と会ったんです。普通、大学を出ているとすぐに将校になれて、当番兵がつくわけですよ。それなのに兵長のままで、軍隊は嫌だと言って、戦場にまでウェブスターの英英辞典を持ってきている人でした。

8月の下旬でしたか、米兵が占領する摩文仁集落のテント小屋から英文の雑誌を拾ってきたんですね。日本軍の敗残兵はそこへ行って食料を奪っていたんです。拾ったのは「L I F E」でした。白井さんは、それをすらすらと読むと、「ポツダム宣言を受諾すると書いてある。日本は負けたよ。ただし、負けたと言うと2人とも殺されるから、一切その話はするな」と口止めされたわけです。

あとで振り返れば、8月15日の祝砲だったのでしょうか、沖合いっぱいの米軍艦船から赤や黄色の花火みたいな砲弾が猛烈に上空に打ち上げられた日があって、周囲の敗残兵は「特攻隊が反撃に出た」と言って喜んでいました。そんな状態でしたから、負けたとは言えなかったのです。

白井さんから「戦争に負けた」と知らされたときは、本当にショックでした。それは戦争に負けた悔しさではなく、私自身の無知を知らしめられたショックだったんです。その白井さんが一言、「君がもし生き残ることができたら、東京に来て英語を勉強しろよ」と言ってくれたんです。

とはいえ、わずかな食料のために友軍同士が殺し合う光景を毎日の

ように見ていたものですから、すっかり人間不信に陥っていて、戦後しばらくは、やけっぱちなその日暮らしをしていました。住むところもなく、嘉手納基地でバーテンダーをやったこともあります。そんなときに、沖縄民政府の文教部にいた先生から、密航船が運んできた憲法のコピーを見せてもらったんですね。憲法前文や 9 条を読んだときは、本当に感動したんですよ。ちびた鉛筆をもらって、米兵の食料を包んでいた箱に書き写したものです。

白井さんの一言で学ぶ喜びを知り、新憲法が人間味を取り戻すきっかけとなったのです。

西羽 潔 Kiyoshi Nishiha

Email: nishiha@rose.sannet.ne.jp

「戦争を語り継ごう -リンク集-」

<http://www.rose.sannet.ne.jp/nishiha/senso/>

【ML コミュホームページ】http://www.freeml.com/no_more_war

Diary. November20.Thursday. 聖フランシスコの祈り。

★ Thomas から：11月20日。午前9時半。

午前8時にイエール大学時代からの親友で、プリンモア大学と一緒に赴任してきたタニス博士が老人村のコンドミニウムで転げて負傷し、レディング病院に担ぎ込まれて一週間たったとの消息を知った。それで、急遽チャックと二人でレディング町まで見舞いにこれから行く。レディング町はフィラデルフィアから大分離れている昔の工場町。片道自動車で一時間は優にかかる。

タニス博士はイエール大学の大学図書館館長だったが、プリンモア大学の歴史学教授と図書館館長を兼任することになってフィラデルフィアに転住する過程で、僕は副長として同伴してイエールから来た一緒にきた仲だ。僕とはこの45年間一緒に暮らした人。

★ 新潟の裏から：

雪の一日でした。

昨夜、大騒ぎをしてタイヤ交換しておいて良かったです。

安心して出勤できました。

日中は晴れたり降ったりを繰り返し、夕方から雨になりました。

おかげで、至る処ビチャビチャです。

それでも、雪が降るよりずっと良いですね。

雪は嫌です。

BIG 3（米国のGM, Ford, Chrysler自動車会社）への援助が決まらないということがニュースになっています。

今日は何か進展があったかどうか分かりませんが、昨夜の段階では援助を求める BIG 3 の首脳達が報道されていました。

彼ら BIG 3 は結局のところ、ここ 20 年間というものの短期的な利益だけを求めてきて 開発に力を入れることを怠り、新しい機構の車は全く開発できていないというのが日本に於ける評価のようです。

それなのに、首脳達が全く自分の責任について言及していないことが話題になっていました。

アメリカでは、いっそ潰してしまえという強硬論もある由。

支援をしたところで、新しいものが開発されていない現状では明るい展望など持てません。一体どうになってしまうのでしょうか。

日本では、歳末のお歳暮を取りやめる企業が続出だそうです。

デパート商戦は、一気に冷え込むこと確実です。

襄

★ Thomas から。

おそらく、3 自動車会社の現況から考えれば、潰して破産させた方が賢明だと、僕自身は思うようになってます。その替りに、一般労働階級に与える生活苦大きいことでしょう。問題は社会構造に起因していて、そう簡単に解決できるとは思えません。

軍事費出費が原因だとは誰も言わないでいるけど、それが根底にあることは明白だと思います。

★ St. Francis' Prayer。

日本語文語訳校正のころみ。この訳文は生硬すぎると思う。漢語をなるべく、避けたい。

昨夜、使徒信經の訳文も読み返してみた。

ー アシジの聖フランシスコの祈りー

主よ、

われをしておんみの平和の道具とならしめたまえ

われをして憎悪あるところに愛をもたらさせたまえ

傷あるところにゆるしを

疑いあるところに信仰を

絶望あるところに希望を

闇あるところに光をもたらしたまえ

悲しみあるところに喜びを。

神なる主よ、

われをして慰めらるるを求めずして慰め、

理解さるるよりも理解し

愛さるるよりも愛さしめたまえ。

そはわれらは自ら与うるがゆえに受け、

ゆるすがゆえにゆるされ、

おのが身をすてて死するがゆえに永遠の生命を得るものなればなり。

Diary. November21. Fri. 親友突然怪我。レディング町地域トラウマ病院訪問。

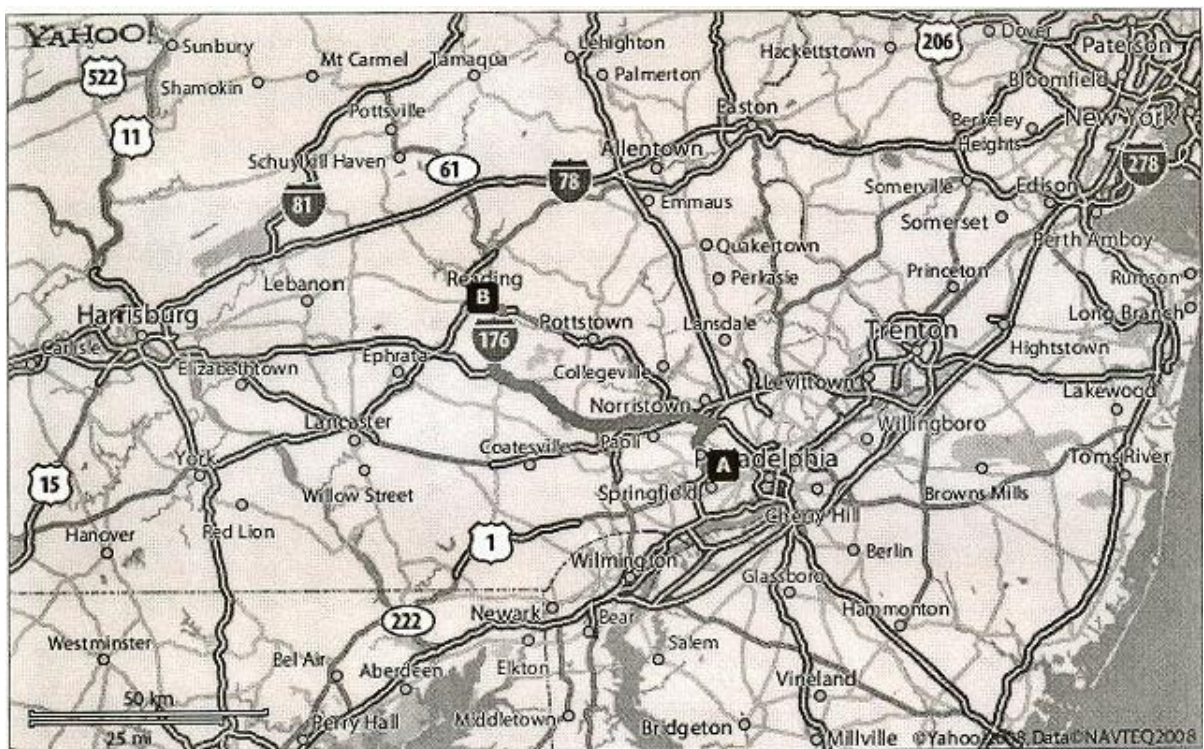
日記。米国東海岸時間、11月20日。木曜日。

七十歳を過ぎると友人間の連絡が疎くなる。今朝8時に昔、プリンモア大学図書館の同僚だったティナリさんが電話をくれて、僕たちが若い時に上司館長だったタニス博士が怪我をして、レディング町（Reading PA）のトラウマ・センターに担ぎ込まれてから1週間たったと知らせてくれた。タニス博士と僕は45年のつきあいで、イエール大学からプリンモアと一緒に移って来た仲だ。



早速手をつけていた仕事を片付け、チャックと二人でReadingに赴いた。国路#76と#176を経て、州路#422を辿ってReadingにつくわけだ。このあたりになるとアパラチア山脈が平行して波状に南西から東北に向っている。

だから低い丘が続く。



僕たちの家がA、レディングがB。距離が60マイル。ほぼ100キロの行程だ。(地図の太線)。



モルガントウン出口で# 196に移り、# 422でレディングに着いた。下掲地図には大分前、裏が訪米してくれた時の日記記事で紹介したEphrataエフラタ僧院の村EphrataがReadingの南（下）に見受けられる。



予期に反して、田舎町のレディングにしろ国立地方医療施設だけあって、まるでホテルのように豪華な病院だった。この写真は付属車庫から撮った。駐車料無料。病棟入口は写真一階で照明されているところ。



このあたりに、太平洋戦争まで映画館が華やかだった往時の面影が残っているが、上掲のような（白人）社会生活はもう消えてしまった。



入口から入ったら、売店（写真左端）が眼についた。眼前に丹念に磨かれた廊下が広がる。



そして、豪華な螺旋階段が吹き抜け天井をよじ登る。勿論僕たちは昇降機を使う。病室は5階だった。



タニス博士はダウンタウンに友人宅を一泊訪問した際、夕方に階段で足を踏み外し二階から一階に転げ落ちたそう。首に骨折を負ったので包帯されているし、額の裂傷が15cmは優にあり痛々しかった。昼食をチャックが傍について助けたが、命拾いをしたようだ。その夕方訪問先家庭の7歳少年が倒れた博士を発見して、すぐに911に緊急電話をかけ、救急車と警察車を自宅に誘導したそう。アメリカの中流家庭の子はしっかりしている。そして、「おじいちゃん見舞いに来てくれている」そう。

すこし、社交的におませなのかもしれないが。笑。

上掲写真は、5階病室を訪ねる客たちのために、昇降機出入口前に設けられた客用広間。



客用広間から見下ろす近隣風景。西レディングの集落が展開し、遠くにゆるやかに起伏するアパラチア丘陵が見える。下掲は付属売店に陳列された見舞い用の花瓶。

アメリカの下院議会に選出されたこの地方からの議員は、選挙した地方人民にどうワシントンで働いているか、何をしてくれているか、個人的問題を抱えてワシントンに赴くとどんな接待をしてくれるか、そして国立投資でどんな設備をこの地方に分捕ってくるかを年がら年中監視される。だから、このような高価な病院施設をこちらに持つてくるとさぞかし鼻が高いだろう。

選出された地方議員は涙がでるほど地方民の面倒を見てくれる。そして、謙虚、丁重、親切で威張らない。僕の母が老衰して朝鮮からここに連れて来た時、始から終りまで彼女渡米の面倒を見てくれた。ソウル領事館に督促電話まで数回かけてくれたし、死ぬまで見舞いの電話と時々くれた。

裏がくれた写真機にも大分使い慣れた。これらの写真は訪問中にメモする替りに、ときおりシャッターをきっただけ。馴れた物で、今は無意識に構図がとれる。

くださった裏にとっても感謝している。この写真機は僕の80年の人生を変えた。



Diary. November 22. Saturday. 半世紀以上の仲間。

日記。東海岸時間、11月22日。土曜日。

★ 土曜日の朝：曇り。



昨日、突然、半世紀前に僕とダーツマス大学で四年間一緒に暮らしたあと、医学校をでて医師になり大分前に
隠居した親友トーマス・マクブライドが上掲写真を送ってくれた。彼はメイン州のカムデン町に住んでいる。

1953年に一緒にダーツマス大学を卒業した時にハノーヴァーの町で、彼が撮影してくれた写真だ。
二十を過ぎたばかりの、僕たちは二人ともたしかに若かった。

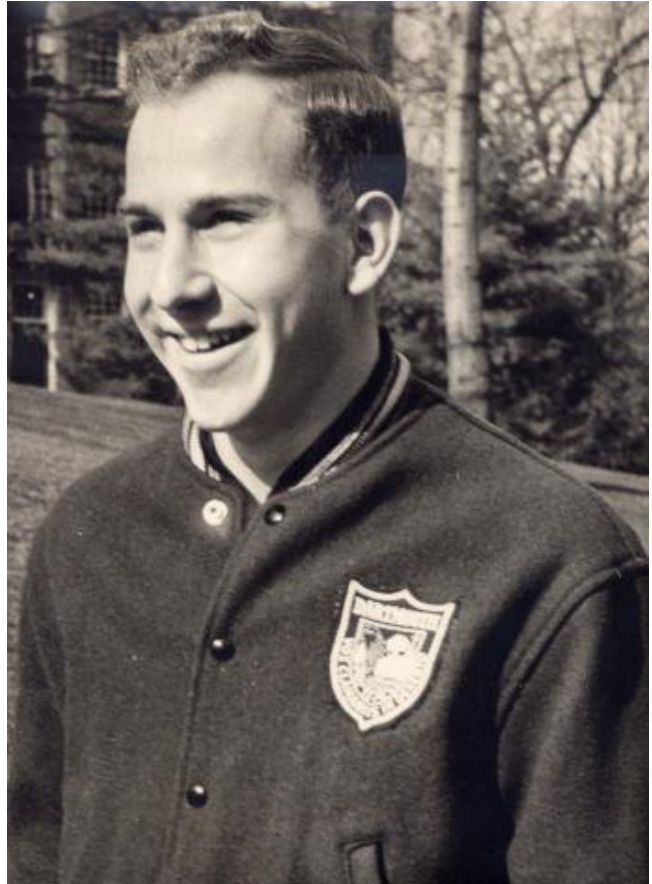
80歳の峠にさしかかって振り返ってみる、僕はコワイモノシラズだった。

太平洋戦争中あの大連で、学徒動員と「鬼畜ペイエイ憎悪」の戦時の中学教育を4年と、旧制高校3ヶ月だ
けで、アメリカに来てこっちの高校を一年で終えた。

（満洲大連でのその中学４年だって、教練と学徒勤労奉仕でろくろく勉強できたわけでもなかった。ゲートルを脚に巻いて通学したご時世だった。）

そして、すぐに、ダーツマス大學に飛び込んだ。日本中学学歴１０年と米国高校１年、総計１１年だけで、アメリカの大学に飛び込んだわけだったから。

加えて、僕は未だにＰＴＳＤ（戦争体験神経症）気味でもあった。ただ、英語に問題なかったのが幸이었다。



Thomas McBride circa 1952

ダーツマス大學在学中、僕たちは三羽烏で、もう一人にジョン・ジョイが居た。

大學卒業後、彼も朝鮮戦争に徴兵されて、海兵隊飛行隊のパイロットになって朝鮮半島に送り込まれた。

そして、戦争中のソウルのあの難民混雑のなかで、僕の母を捜しだして、会ってくれた。
どうやって、母を探し出してくれたのが、未だに僕は不思議に思う。

焼け野原になってしまって、しかも迷路のようだったソウル乙支路（黄金町）の二丁目で。

突然母の診療所に米軍将校がジープを乗りつけ、戸惑う母にジョンは胸のポケットから僕の写真を取り出して見

せて、その写真を指差し、右手のその指を彼の心臓に当てた。

爾後、「お前のおかあさんが泣いてたよ。」とジョンが電話で語った。母はすぐに診療所を閉じて、彼の自動車で明洞のカトリック教会に一緒に赴き、盧パウロ主教に二人で会って、通訳していただいたそうだ。その盧主教ももう故人になられてしまった。

ジョンは紐育州の大学で英文学教授をしたあと引退した。だが、ちりぢりばらばらになってアメリカに散らばってしまった僕たちは、個別には会ったが、三人とも一緒になる機会が卒業後ぜんぜんない。

それでも、大学の校友会を通じて、僕たちはEメールで交信している。

この二人は、大學生活中、朝鮮戦争の四年間僕を兄弟のようにしてくれた。



John Joy circa 1952

トーマスは80近くになって、右腰が悪くなり人工腰手術を受けたが、経過がよくないと書いてきた。彼はシカゴの公立高校卒業生で、ご両親は二人とも高校教師だった。アメリカに来たあと、僕は太平洋戦争の悪夢から冷め切れるまでまる20年かかった。あの太平洋戦争の4年間は地獄だったから。

この写真は、着米後たった3年から5年にかけて撮影されたわけだ。あのころ、僕の英語にはまだ東洋訛りが消えてなかった。笑。（だって、日本人とドイツ人教師に教えられて、ハワイKRHO放送局の対日宣伝放送を密聴取しておぼえた英語だったからね。）

国境と人種の壁を越えて半世紀以上の友情を保った友だちに囲まれて生きている僕は感謝すべきだ。

註： あのころ、暗記した対日宣伝放送のくだりを僕はいまだに覚えている。毎晩聴き入ったし、必死だった。

「This is Station KRHO, Honolulu, Hawaii. We are transmitting the Voice of America on 1010 kilocycles or 31 Meter Band. ... This is the Voice of America, broadcasting to the peoples of the Pacific and the Far East. Here is a short summary of the News. ... This program has come to you from the United States of America.」

★ 紐育の金さんから。

世襲制度。

坊ちゃん政治の 恐ろしさを B u s h が 余すことなく 見せ付けております。世間知らず わがままに 育ち他人のことは お構いなく 好きなことは がむしゃらに 独りよがりて 泣き喚いても 手に 入れるまで 暴れまわる。誰の 言うことも 聞かない 自分勝手。嫌いなものは 殺したいくらい 嫌い。神に 呪って 殺したくなる。こんな B u s h が 世界を 苦しめている。2 世の わがままの 犠牲に 世界がなっている。

日本の 政治家には 2 代目が 多い。能力に 係なく 地盤 看板 カバンで 国会議員になっている。2 代目よりも 悪いのが 取り巻き 連中である。昔で 言えば 家老 旗本などが 2 代目を 表にたてて 選挙参謀と 選挙屋になって 利権に 取り入って 飯の たねにしている。政治力もなければ 能力もない 息子 娘が 国会議員になり 長官(大臣?) になって 官僚と 選挙屋の 言いなりになっている。

こんな 政治が 自民党 50 年の 中身であるとしたら 無気力であるのは 当然である。漫画の 知識で 頭が いっぱいで はしご酒で ふらふらして 舌が もつれて 漢字の 発音が しどろもどろの 総理大臣が 政治の ギア-を 握っている。野党にも 2 代目が 多い。世界が 死ぬか 生きるかの 瀬戸際で 先が 見えない この難局に 2 代目が 主流を 占めている 日本の 坊ちゃん お嬢さんでは 大丈夫だろうかと よそながら 心配になる。Change Change の 山彦は 太平洋の 向こうだけらしい。

★ 東京のしんやから：

金さん、

2 世議員の頼りなさもさることながら、同世代の、ないしその次の世代も何だか頼りない。僕らは貧しかったが、これはみんながそうだったと思います。ところが、以後の世代は豊かに育っているから貧乏を知らないのかもしれない。

それでいて世の中はすごく合理化されていて、搾取は実によく出来ている。フリーターや正規でない雇用者は浮か
び上がる余地がない。最近是不景気風で、外国人労働者が解雇されつつあります。新しい差別が生じています。
何か不穏な気分がします。そういえば、厚生次官の歴任者を襲った事件も理由不明です。しんや、17時2
0分

Diary. November23. Sunday.

日記。EST東海岸標準時間、11月23日。日曜日、深更。

★日記。日曜日。チャックは午前7時に教会へ出勤。都心自動車操縦を遠慮して、僕は教会にもうでない。
午前10時まで、昨日のBlog記事を推敲した。案外、時間がかかる。

そして、一日中ピアノを弾いた。このピアノ80歳なのに求めて贅沢だなんて考えたけど、買ってから独習し始めて
よかった。遅遅として上達が進まないが、バイエル#55と#66を繰り返し、繰り返して弾く。エリーゼはまだまだ
一節ずつの弾奏練習。それでも、指が動くようになってきたのがわかる。

チャックの要請で、ベートーヴェン「歓喜のオード」を#F Chordsに会わせて弾いてみた。Harmony（和音？）をもっと習わなければなるまい。80の手習いだけど、学習速度が幼稚園の子供よりも遅い。

午後8時にチャックが教会から疲れて戻った。13時間の奉仕労働だ。幼児洗礼が3回あったそうだ。少しずつ
にしろ、教会に通いだす若夫婦が増えてだしているようだ。

下掲のしんやからの手紙：① 考えてみたら、Thanksgiving Day ってたしかに新嘗祭だね。そして、東野治
之の「遣唐使」のこと面白かった。あのころの遣唐使航海路は、瀬戸内海から朝鮮半島沖の多島海を横切って
山東半島の青島あたりにたどり着いたのだろう？

「日出る国の天子」出典が「大知度論」とはね。僕たちの大連世代には無関係な世界だった、だって図書室に鍵
をかける愚民教育だったからね。唯識思想形成がこの書に影響されているし、大乘起信論だって大知度論に影
響されているってことを、アメリカに来てから図書館で E. Lalotte のナガルジューナについての英訳本で読んだ。
あのころの日本人は勉強していたものだね。仏教徒でもない僕が云々する資格もないが。

★東京のしんやから：

今日は月曜だが「勤労感謝の日」で休日。昔は「新嘗祭」だった。天皇が新収穫の米をいただく日だったはずで
日本が農業国だった記念日。勤労感謝はアメリカのサンクスギビングデイの真似かな。

木更津に行った時、時間待ちで本屋に入り、東野治之『遣唐使』（岩波新書）を買った。今年の毎日出版文

化賞を受賞した本。小さな本だけれど中身は大分豊富で面白かった。たとえば、当時の船は小さかった、とされていたが、150人くらい乗れる帆船だった、遭難事故が多かったのは使節が唐の年末年始の式典に列席するため、9月ごろの出航が求められていたこと、新旧暦とも台風シーズンだったことが挙げられている。国書の「日出づる処の天子…」の文が、日本の優越を意識しているというのは誤解で、東と西の文飾で、仏典の「大智度論」からの借用に過ぎない。ただ、天子という表現を日本と隋の両方に使っているのが無礼だ、ということになる。再度の遣使が持参した国書では「東の天皇、敬（つつし）みて西の皇帝に白（もう）す」となり、へりくだった表現になっている。この場合の天皇はまだ使われていず、原文では大王または大王だったと思う、と書かれている。日本は東方の島国で他国との交渉がすくなかったことが有利にはたらいと思う。直接の侵略がなかったし、遣唐使の場合のように必要がなくなれば派遣しないで済ますことが出来た。地続きの朝鮮各国が苦勞したようなことはなかった。そのせいで唯我独尊の高慢に陥ることも少くない。日本という国号がこの時代に成立し、しかも今に至るというのは世界的にめずらしい。王朝の交替がなかった（本当にそうかどうか）からだという。進也、午前11時。

★ 北海道のえりさんからたより。（えりさんは、大連中学級友小山君の娘さん。だから、僕との縁は70年前の大連に遡る。）

11月22日は、ごろあわせで「いい夫婦の日」。私は病み上がりなので、長時間の勉強会をさぼって、ふたりで、この前のハロウィンのくじ引きであてた JR タワーの展望台へ行ってきました。



札幌では一番高い建物 173m です（へ-へ）v。 > 世界一は、台北 101 で、448m。アメリカではシアーズタワー 442.3m ですってね。展望台に着いたときは晴れていて、駅裏から北方角に、（札幌の繁華街は駅の南側なので、反対方向です）石狩の海も見え、感激したら、30分もしないうちに雪が降り出して、視界が悪くなりました。

いい時に着いたと、ラッキーな気分でした。

ふたりで、これもくじ引きであたった展望台喫茶のコーヒー

ケーキセット（私はシフォンケーキ・夫はガトーショコラ）を頂き、丸山のおばあちゃんの所へよって、楽しいひととき
過ぎて帰宅しました。

今回は「おばあちゃん、いくつになったの？」と聞くと「まだ 740 歳！」と答えておりました o(^v^o)。

トーマスの卒業写真も、素敵ですね！

では、お元気で。えり

Diary. November 24. Monday.

日記。東部標準時間、11月24日。月曜日。

時差 14 時間だから、米国時間で生活して、Blog は日本時間で書いてるわけ。時差による遅れは免れない。

平凡な月曜日。Reading のタニス博士見舞いは明日に譲ることに Chuck と決めて、Bryn Mawr の薬局で彼の薬剤を受け取り、Genuardi 超級市場で買出しし、Borders 書店
喫茶部で Coffee を摂った。Xmas の書物や贈り物品が大分見受けられる。

★東京のしんやから。11月24日深更受信。

大智度論を君は読んでいるのだね。僕なんて仏典は般若心経くらいしか読んでいないから、はあ、という程度の知識だ。よくないね。この本を読んでいると、最澄の天台宗でも根拠になっているお経は法華経だという。法華経は日本だと日蓮の専売特許みたいにされているけれど、抽象性の強い経典らしい。勉強しなければね。

君が書いているように、札幌の写真はいいね。普段接することの少ない土地だ。えりさんに感謝しなければ。

昨日の雨がすっかり上がって晴れた。今日は午後から大連会に行く。校正も出る。別に書道雑誌を出している友人から、今日校正をお願いしたいという電話がかかってきた。

紫藤君著作を整理して、今、学内の印刷物に書いた論文の抜き刷りを整理している。短波放送の原稿もある。よく書いているよ。進也、11時

★Thomas から。11月24日深更。

● 大智度論を「読んだ」なんて、とんでもない。理解できるほど、僕の知識基礎なんてできてないさ。

高楠潤一郎博士（註：名前の漢字をよく覚えてない）の入門書を手がかりに昔、昔アメリカで齧っただけだよ。

幸運にしてペンシルヴェニア大學の日本語仏教蔵書は高野山大學図書館蔵書より優れている。（１９７５年に君の家に転げ込んだあと、頼まれた日本語講演を大阪でやって、高野山を訪れた。そして、一寸たまげた。）

だから、フィラデルフィアで仏教書を読むのには不自由しなかった。それに、何でも電話一本で送ってくれるしね。西本願寺だったかな、礼拝用に小さな赤い「聖書」として浄土宗聖典が纏めてある。基督教の真似なんだろうが、本願寺はさすがにアメリカに布教して根をはってるだけあるね。その赤い仏教バイブルも愛用したものだ。般若心経はシッファー先生に大連中学時代に「暗唱」させられたよ。考えてもご覧、伏見台教会に通いながら覚えたんだ。あの先生にはご恩を受けたものだ。あの愚民教育時代にね。

● ところで、Newsを聴いておぼろげながら情勢を掴んでるのだが、オバマの新外交政策はブッシュ路線からは、そんなに離れはしないだろうと思う。期待はあまりし始めていない。ネオ・コンじゃないだろうにしろ、任命された主任補佐官が徹底した親イスラエルだし、嘘かホントかしらないが、イスラエルとの二重国籍らしい。と言うのは、地政学的には今のイスラエル防衛戦略路線から離れはしないだろうと思う。ただ、もっとプラグマティックにはなるだろうし、イランやシリアとの対話だって実現はするだろう。３年後撤兵約束だって、一応はブッシュから引き継ぐのに暗黙な了解はあるだろう。

国内政策はずっと理知的で、憲法遵守的になると思う。今までは、人権蹂躪で滅茶苦茶だったから。最高法廷までが、グアタナモ投獄そのものを違法だと決めつけ始めている。

● そして、経済政策だって、クリントン派からどんどん人材を抜擢してきて据えつけている。左翼は一応オカザリだ。だけど、ブッシュの愚鈍な取り巻きよりはずっとましだと思う。

★

Diary. November 25. Tue. 20世紀初期の英国農村。Blythe著、Akenfield村。

日記。東部標準時間、11月25日、火曜日、早晩記。

★ 今午前六時。起きて簡単な朝食を済ませたばかり。９時にChuckとReadingにタニス博士を見舞いに行く。

奥さんに死に別れ、息子二人は遠地在住。だから、僕たち二人が頻繁に病床を訪れるのは必要。100*の丘道は一寸こたえるが。

★ ワシントンで製薬世界で活躍してるクリスが水曜日に来てくれる。擬似家族を作りまわる僕の擬似息子でもある。

80歳になって息子世代の友人を保つ僕は幸運。

彼はペンシルヴェニア州立大学でB i o - e n g i n e e r i n gで学位を取って、ワシントンの連邦政府の製薬業監督世界に入っていた。毎年数回訪ねてきてくれる仲だ。



Hi Thomas,

Sorry I'm just now touching base about tomorrow. It's been a hectic few days. My train arrives in Philly around noon. I have booked another train from 30th Street Station to my Mom's that leaves at 5pm. It's not as long a visit as ideal, but I think it will give us a good amount of time to catch up.

I'm looking forward to seeing you!

Love, C h r i s

★日記。続。水曜日、早暁午前2時。

もう水曜日の真夜中過ぎだ。昨日午前10時に出発して、レディングにD r i v e、病院についたらタニス博士は既にA u d u b o n町のS h a n n o n d a l e村看護院に転院させられたことを知った。一寸唖然とした。

やっぱりアメリカだね。すべてが能率主義だ。シャノンデル看護院は、博士が住む老人村の終身看護院だ。人生の先読みして、彼は大分前にあの老人村に奥さんと二人で入った。終身看護保証とはありがたい。来週、あそこに見舞いに行く。

★ 小田実の「河」を読み続けるのに苦労している。あまりに朝鮮のあのころの現実に迫りすぎていて、僕の場合読みづらい本だ。彼はよくあれだけ書いたものだと思う。

★ そしたら、チャックが Blythe, Ronald "Akenfield. Portrait of an English Village"を見つけて読み始めて、僕に勧めてくれた。

人類学学者Blythe が1969年ごろに書いた本で、英国のサffォーク郡の二つの村の聞き取り記録をそのまま出版したもの。Akenfield（イクンフィールド）は勿論仮名の村だが、Suffolkの Ipswich市 が近辺にあると記録で語られている。

英国地図を捜してみたら Akenfield は仮名らしく、Akenham という村がIpswichの北にある。

Googleの地図やImageに、Akenham, Suffolk, England と入れたら、出てくる。

1969年だと、僕がエール大学からプリンモアに転職した年だった。

日本を渡米ほぼ30年後に始めて訪れたのが1975年で、父が死んだ年だった。

1969年の聴取記録に、Leonard Thompson（71歳）が出てくる。（31頁）。1899年に3歳だとあるから、1896年生まれで、僕の父より2歳上だ。

だから、そんなに昔の記録ではない。日本アマゾンでも古本としてにしろこの書を扱っている。

チャックが僕にこの本を渡しながら言った、「愛蘭は英蘭の植民地だったから、英国本土の農村は愛蘭農村と全然違うと思ってたら、そうじゃなかったんだね。」ヘーと思って読み出してたまげた、日本で言えば大正時代の話だ、即ち20世紀初期だ。

農村での農民搾取ってどこでも同じだったのだ。英国本土で、首都ロンドンから90マイル（144km）しか離れていない、サffォーク農村の話だ。日本や朝鮮のあのころの事情に詳しいわけではないが、世界を制覇した大英帝国の国内実情を手際よく描写する書物だ。あのころの英国本土でもPloughmanと呼ばれた農民は、小作人でもない（にもなれない）、「農園労働者」で日雇い無産者だった。

日本では、この階級を水飲百姓と形容したが、この老人トンプソンがの話が下掲だ。水もろくろく飲めない社会だった。

"Our biggest trouble was water. There was no water near, it all had to be fetched from the foot of a hill nearly a mile away. "Drink all you can at school.",we were told. - There was a tap at school. You would see the boys and girls filling themselves up like camels before they left so that they would have enough water to last the day." 33頁。

こんな按配だ。残念ながら、日本語訳が出ていないみたい。

英国の無産農園労働者たちの家族は飢餓に瀕して育った。大正の時期にだ。

日英同盟締結が1900年代初期だった。阿片戦争が1828年、そのころでも東洋侵略は始ってから80年経って、上海じゃ英国人が一等国民として威張っていた時期だ。「No Dog and No Chinese」と上海のフランス租界公園に高札が立っていたころでもある。

そこに派遣されて、格好よい軍服を着ていた農民上りの兵士たちが、もともと徴兵されて駆り出された英蘭農村がこの有様だった。



この兵士たちには、農奴制度みたいな環境に縛られたまま育った連中が多かったのだろう。勿論、国民皆兵とは言ったが。



エイケンハムの教会。



エイケンハムの村。

第一次世界大戦で、英国のこの状況ががらっと変わった。変わった理由が、帰還兵士の軍隊生活と戦争体験だった。農民自己認識の突然変異ってやつなんだろうね。

そういえば、読みながら考えたのだが、第二次世界大戦もアメリカを変えた。真珠湾攻撃がアメリカ社会構造に与えた影響の大きさは筆舌につくせないと思う。

僕がアメリカに来たのが1948年で、第二次大戦終了の3年あとだった。
まだあのころにはアメリカでも階級社会の痕跡がれっきとして残っていた。日本からついて、ボストン近郊の移民村で一年暮らしてから、突然学習院のような蔦聯盟大學に投入されたのだから。大學の寄宿舍には、各個室を掃除し、寝起きの世話をするティの良い召使までが居たんだよ。それが、たった60年前だった。

そしたら、60年ごとにアメリカでは黒人大統領が当選した。

僕はアメリカ変化の歴史を生きたことになるんだろう。

Diary. November26. Wednesday. 感謝祭の前日。

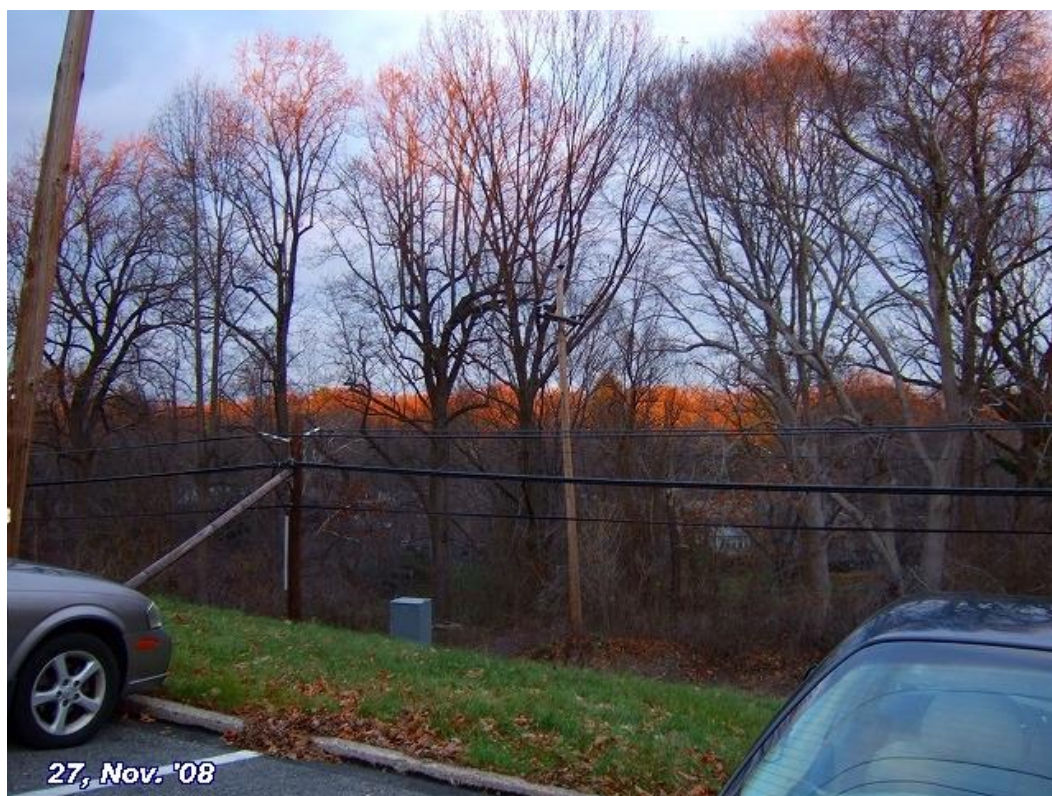
日記。感謝祭前日。11月26日。水曜日。曇り。

午後1時にクリスが到着し、チャックが2時に教会から戻った。3人で簡単な昼食。クリスはコンサルタントの仕事で米国中を飛びまわっているらしい、頻繁にブラックベリーで電話がかかってくる。

僕は彼がまだ子供だと思っているけど、彼ももう四十歳の坂に近づいている。午後4時半に急行電車でフィラデルフィア駅に去った。



午後4時半の急行電車に乗り込むためにペンフィールド駅への下り坂を下りるクリス。荷物を曳いているのがチャック。69番街で地下鉄で乗り換えて、30番街の鉄道駅でNYC行き列車に乗り換えるわけ。



ペンフィールド駅背後の森が夕日に照らし出されて、さながら燃えているようだった。

明日は Thanksgiving Day. 二人だけど、Filet Mignon を焼いて、ひそやかな食事をする。

真夜中に起きて、チャックが買って置いてあるカーネーションを活けた。



★★★

Comments

1 ■ クリス君

いつ見てもカッコいいお兄さんだなあ。

にやにや 2008-11-28 21:53:36

Diary. November 27. Thursday. 感謝祭。

日記。感謝祭。11月27日。木曜日。晴。



静かなチャックと二人だけの感謝祭。在米六十一回目だった。

1948年に東洋を離れた。

父母に再会できたのは22年後の1970年だった。父とはその訪米が最後の再会だった。そして、感謝祭をその時も一緒に過ごした。

コンテキストが違うのは無論承知だけど、三帰依文から：

自帰依法、当願衆生、深入経蔵、知恵如海。

じきえほう とうがんしゅうじょう じんにゆうきょうぞう ちえによかい

東も西も、感謝祭の心持は同じだ。これこそ、カトリックの真髄だと思う。

父は1975年の復活祭の朝、78歳で亡くなった。臨終に会えなかったし、お葬式にも行けなかった。
そして、あの1976年の感謝祭は父と一緒に過ごしたたった一度だけの感謝祭だった。

僕が過ごした大連の少年時代にまつわる写真や品物はあまり残っていない。大連から逃げて、落ち着いた父母の祖国のあのソウルの家は、落ち着いた三年後の1950年に朝鮮戦争で略奪にあった。
かろうじて残っていた写真アルバムの写真は暴徒や兵士たちが、何の価値もないとしてソウルに家の床に破棄したものだけだ。

花器が運良くだいひとつ遺棄されて残った。活け花に使う白いポーセリンの花器だ。

母はいつも診療所の玄関の靴箱の上に、白いテーブルクロスを敷き、この花器に活け花を飾った。

その花器を、母は後生大事にアメリカに持って来てくれた。1970年に。
それが上掲の白い花器だ。

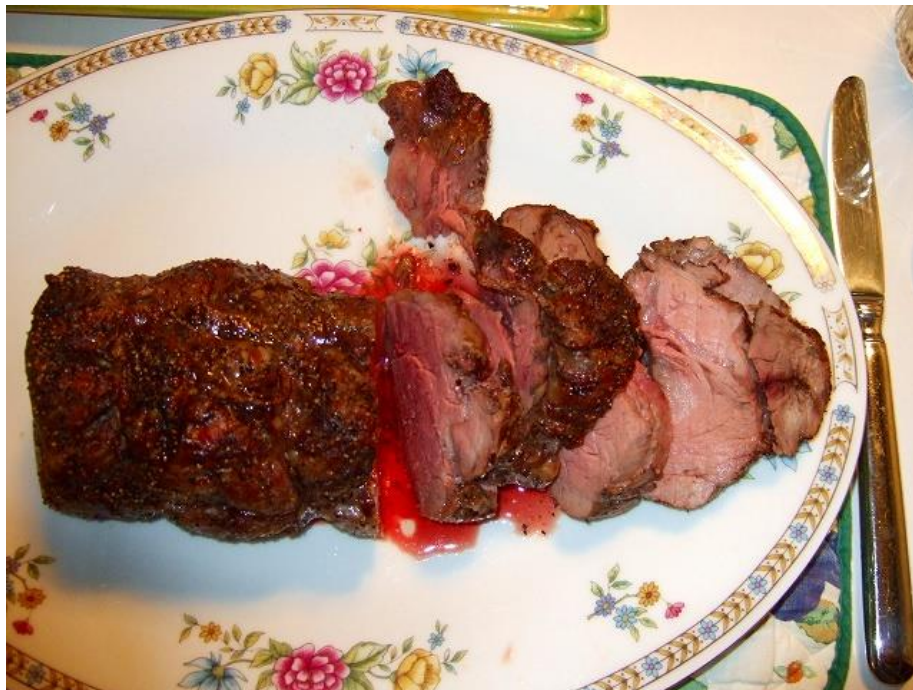
（日本語の花道単語を忘れてしまった。剣山は花を挿すもので、こちらの5 & 10セント店で見つけた。花器の日本語名前が思い出せない。誰かコメントで教えてくださいたらと思う。）

この花器に花を活けるたびに、僕は大連の我家を思い出す。母と一緒に。
その家ももう取り壊されて消えたそうだ。



二人だけの食事なので、ただ花を飾り、フィレミニョンを焼き、Trimming'sはデリカテッセンで全部仕入れた。

左から clockwise: steamed beans, potato salad, pickled beets, 茄子と蕪の浅漬け。
中央が、チャックが焼いた filet mignon.



★ 金曜日、11月28日。感謝祭の翌日：

新潟の裏から：

11月28日（金曜日） JST 6:25 PM

とむさん

今日の Blog と写真は、心底私の心を打ちました。

勝手に感激して、胸がいっぱいになりました。

クリスさんとチャックさんの写真、いいですね。

クリスさんは、僅か3時間ほどの時間を見つけて、
ペンフィールドに足を運んで下さったんでしょう？

そんな彼の律儀さを育んだのは、とむさん達ですから。

私の教わったアメリカ的人間関係とは違う、人と人との繋がり。

にこやかな二人の表情と、それを写し撮っているとむさんの

心持ちを想像したら、この疑似家族は素敵だと思わずにいられません。

残照に燃え上がる光景も、祝福の光と炎のようです。

（でも、手前の陰った光景と遠くの残照の輝きと、両方とも写し撮る

カメラも、なかなかです。コンパクトデジカメのくせに！)
それから、「イケバ〜ナ」名人が生けたカーネーションも、綺麗です。

幸せ気分にしてくれた今日の Blog に、感謝。
正に Thanksgiving Day にふさわしい Blog でした。

★★★

Comments

■お尋ねの用語は「水盤」です

トーマス様

お早よう御座います。日記の執筆に揭示、何時もお疲れ様です。

お尋ねの華道用語は「水盤」です。「すいばん」と読みます。

以下のサイトにて、用語の定義が読めます。

《goo 辞書 国語・新語辞書/水盤》

<http://dictionary.goo.ne.jp/search.php?MT=%BF%E5%C8%D7&kind=jn&mode=0&kwassist=0>

関連サイトを検索されれば、各種水盤を陳列展示した通販サイトに逢着できます。鑑賞するだけなら、無料でしょう。

お元気で。Yozakura 敬白

Yozakura 2008-11-29 09:23:37

2 ■ありがとう。

水盤でしたね。ありがとう。

そうでした。

大連時代にも、たしか水盤と呼んでいました。

thomas-penfield 2008-11-29 12:08:35

Diary. November 28. Friday. 長女宅改修。

日記。11月28日、金曜日。

感謝祭のあくる日、何事もなく静かな一日だった。



アナスタシアから邸宅改修の写真数葉が届いた。

工事はどやら軌道に乗ってるらしい。始め、改修だということで一寸した「造作変え」だと思ったら、まるで全邸宅の作り直しだ。しかも工事を始めたらすぐに世界経済恐慌となった。住宅値段が暴落し、建築業者が破産し始めた。

心配したが、どうやらその次元の災難はまぬかれたようだ。

新春までに落成することだろう。外壁は全部終わって、あと塗装するそうだ。

上掲が屋敷の表。前庭も後庭も全部、庭園技師が設計したらしい。まだ着工していない。



そしてこれが裏庭からの眺め。窓を全部とりかえた。



地階から一階のヴェランダへの階段が設けられた。



クリスマスにチャックと二人で見に行くつもり。

★